

NDD認定制度要綱【事業者向け】

Non-Deceptive Design

2025年7月15日

一般社団法人ダークパターン対策協会

1. NDD認定制度ができた背景
2. NDD認定制度の目的
3. 審査・認定の仕組み
4. 認定マークとその種類
5. 認定マークの表示ルールと仕組み
6. ダークパターン・ホットラインについて
7. 認定取り消しルール
8. 今後のバージョンアップ計画
9. 参考情報

1. NDD認定制度ができた背景

2. NDD認定制度の目的

3. 審査・認定の仕組み

4. 認定マークとその種類

5. 認定マークの表示ルールと仕組み

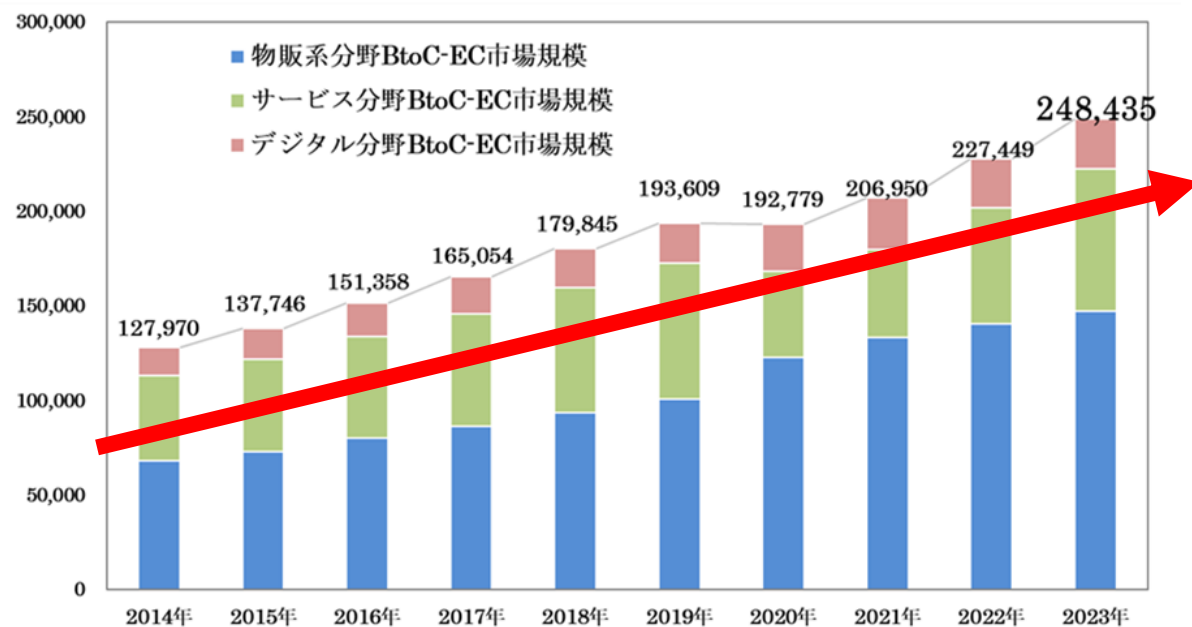
6. ダークパターン・ホットラインについて

7. 認定取り消しルール

8. 今後のバージョンアップ計画

9. 参考情報

子どもから高齢者まで、インターネットは日常生活の一部に。



経済産業省「令和5年度電子商取引に関する市場調査」参照

<https://www.meti.go.jp/press/2024/09/20240925001/20240925001.html>

ネット取引（B2C）は**年間25兆円**に迫り、
前年比9.23%増と右肩上がり。

全体の商取引の中でのEC化率はまだ9.38%
前年比0.25ポイント増であり、まだまだ

成長余力がある。そのような中、社会問題
としてクローズアップされてきたのが...

ダークパターン

ディセプティブパターン（いわゆる”**ダークパターン**”）は、Webサイトやアプリ等で、あなたの意図に反して何かを購入させたり、何かに申し込ませる等の行動を取らせるために使われるトリックである

UXデザイナーのHarry Brignull氏が2010年に最初に提唱

類似のケースに出会ったことはありませんか？



田中さん（仮名：72歳）は、最近体調がよくないのか毎日楽しんでいた晩酌が美味しいと感じなくなった。ネットで肝臓によいというサプリメントのバナー広告を見つけクリックしたところ...

顧客満足度No.1、続けたいサプリNo.1、口コミ人気度No.1 三冠達成！
という**No.1広告**に続き、愛飲者が体調がよくなったという**顔写真入りの口コミ**。

このページを見ているあなたはラッキーです。通常8,000円/月の商品が
今だけ800円でお試し頂けます。（つづく）

類似のケースに出会ったことはありませんか？



ただし、大人気商品なので**在庫があとわずか**です。

このページを閉じると**二度と見られない**かもしれません。

お急ぎを！

との宣伝文句。本当かどうかはわからないが体調がよくなるなら、しかも、800円だったら試してみてもよいかと思い、クレジットカード情報や氏名、住所などを入れて**規約はよく読まず購入**。

早速商品が届き、サプリメントを飲んでみた。特に効果のほどは感じられなかったので、リピートするつもりはないが800円のお試しなのでよいかと納得。（つづく）

類似のケースに出会ったことはありませんか？



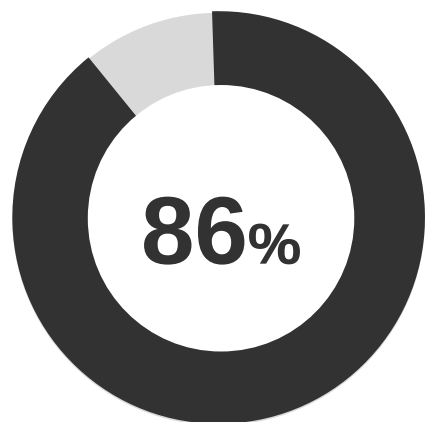
嫌な体験をした田中さん（仮称）のイメージ

最初の商品購入から1か月経って忘れた頃に、またサプリメントが届く。1回限りのお試しのはずなのに...と購入時に送られてきたメールを注意深く読むと**小さい薄い文字で1年契約の定期購入**になっていることや、**解約料に関する記載**が。

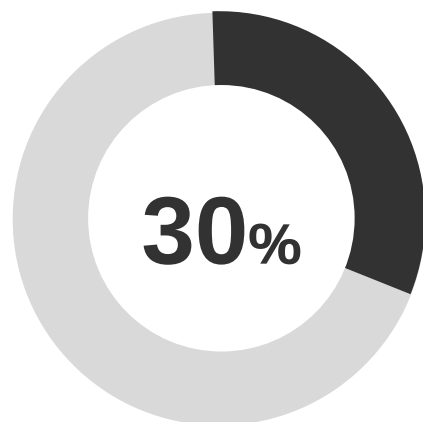
慌てて解約をしようにも**ネットでは解約できず、コールセンター**へ電話。「**ナビダイヤル**でおつながります。」と20秒毎に課金され、10分経っても20分経っても**つながらない**。

ようやくオペレーターに繋がるが**引き止め工作**にあい、嫌な気分で解約をするも、**解約料**として半年分48,000円を請求される。確かに**規約**には小さい字で書いてあり、**読まずに同意**したため**泣き寝入り**に...

ダークパターンを
経験したことがある



ダークパターンにより
金銭被害を受けたことがある



ダークパターンによる
1人あたり年間被害額
(推計)

およそ
33,000円

訴訟が難しく泣寝入りしてしまうケースも

推計被害総額：年間1兆円以上

日本のインターネット人口1億400万人と想定

適切な情報提供

ダークパターン（広義）

法律違反

不適切な
情報提供

同意疲れ

ダークパターン
（狭義）

正しく
伝わる

正しく
伝わらない

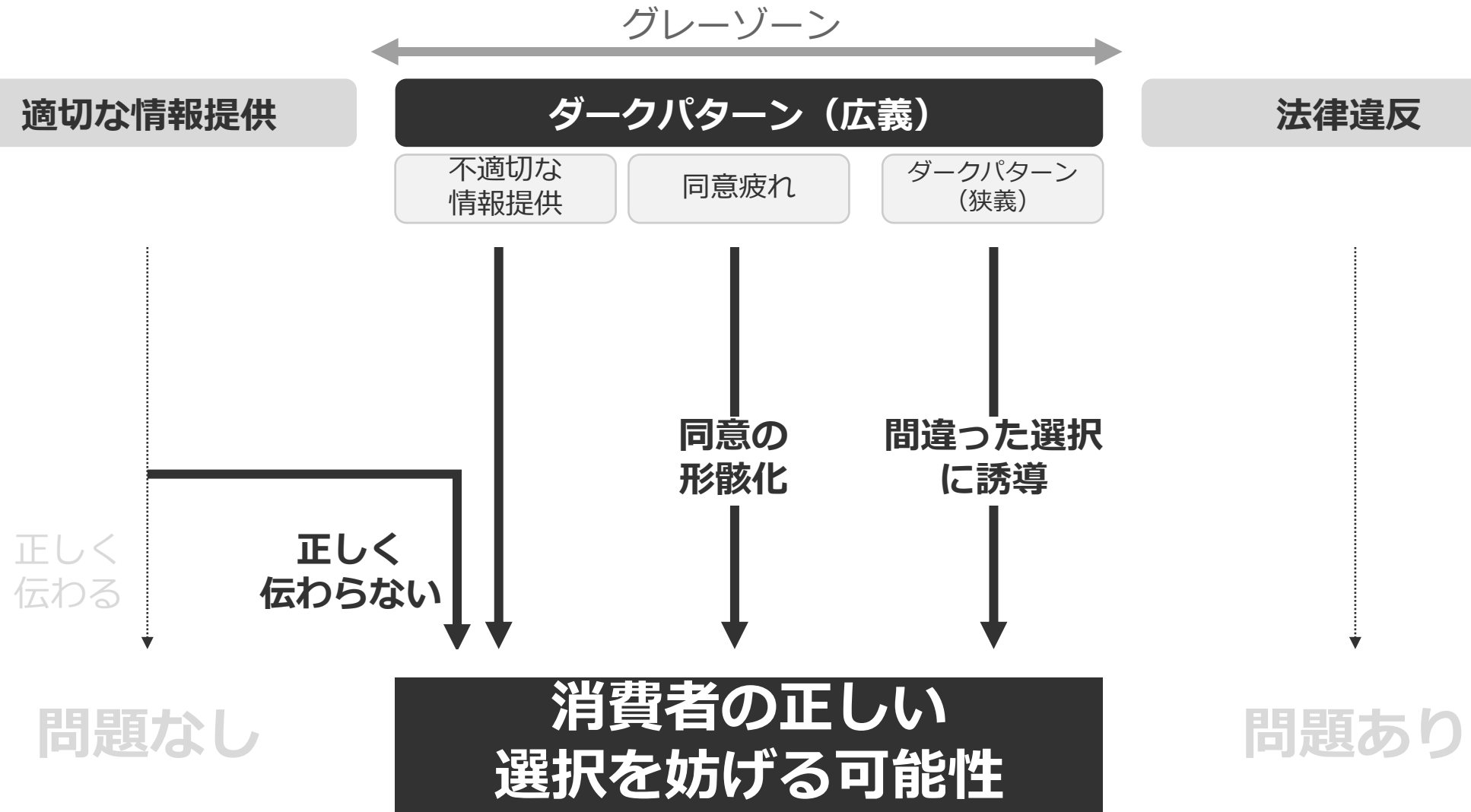
同意の
形骸化

間違った選択
に誘導

問題なし

消費者の正しい
選択を妨げる可能性

問題あり



- 1. NDD認定制度ができた背景
- 2. NDD認定制度の目的**
- 3. 審査・認定の仕組み
- 4. 認定マークとその種類
- 5. 認定マークの表示ルールと仕組み
- 6. ダークパターン・ホットラインについて
- 7. 認定取り消しルール
- 8. 今後のバージョンアップ計画
- 9. 参考情報

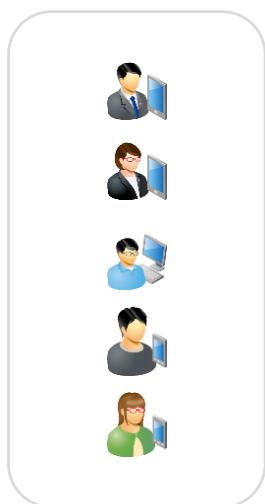
NDD認定制度とは？

誠実なWebサイトを審査・認定することで該当サイトが消費者に信頼され、一方ダークパターンを用いているWebサイトは消費者から選択されなくなり、安心してインターネットを使える世界を目指した制度

現状

どのWebサイトを信用してよいのかよくわからない

様々な理解度の
消費者



様々な実装の
Webサイト



消費者の正しい選択を阻害し、被害につながる場合も...

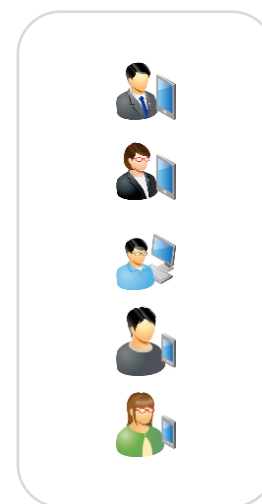
誠実なWebサイトがダークパターンに負ける

→正直者がバカを見る+消費者被害 これを是正したい

目指す姿

誠実なWebサイトをNDD認定し、消費者へ判断材料を提供
安心してインターネットを使えるように

様々な理解度の
消費者



様々な実装の
Webサイト



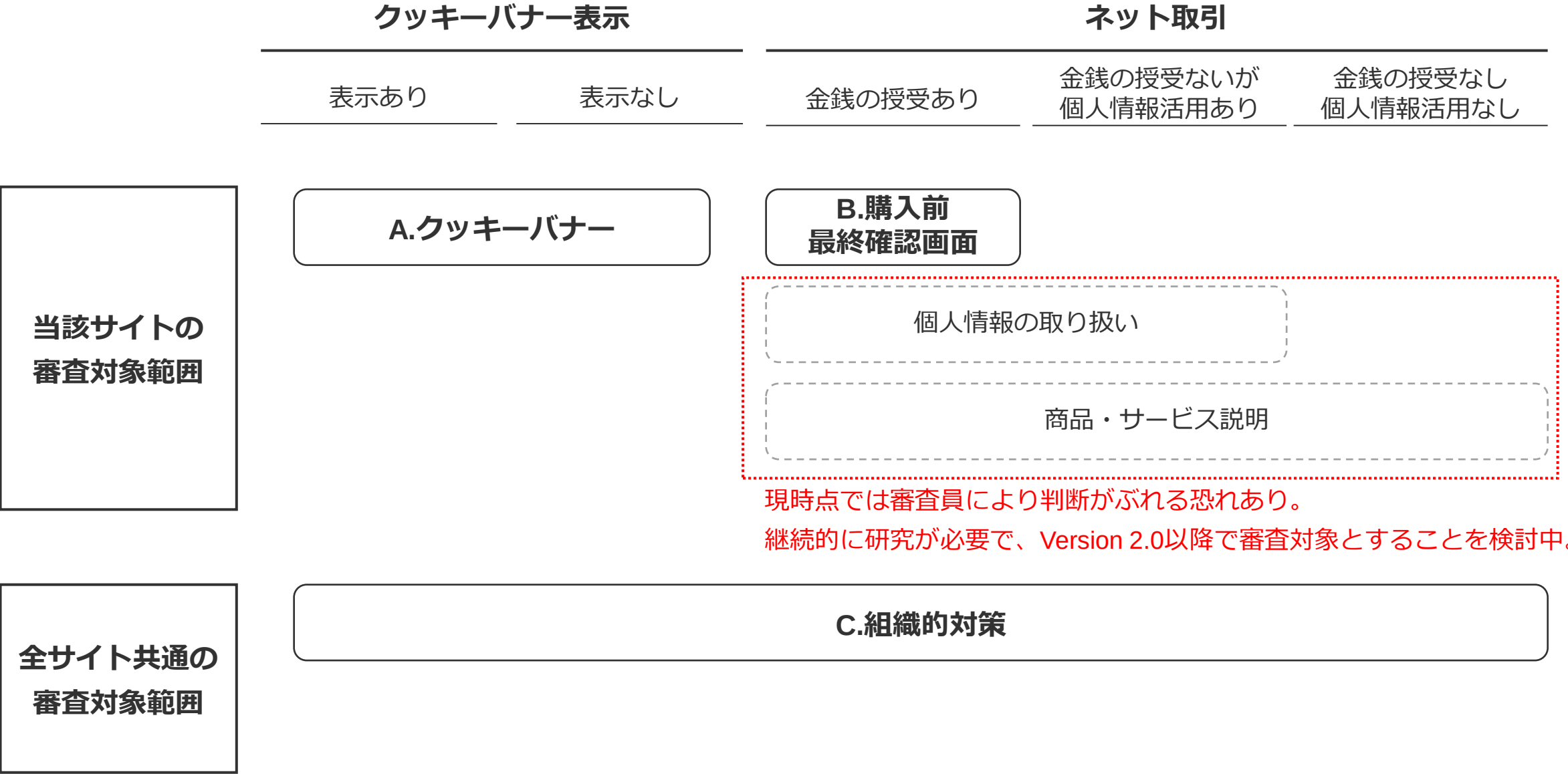
消費者の正しい選択を補助し、ダークパターン淘汰へ

- 1. NDD認定制度ができた背景
- 2. NDD認定制度の目的
- 3. 審査・認定の仕組み**
- 4. 認定マークとその種類
- 5. 認定マークの表示ルールと仕組み
- 6. ダークパターン・ホットラインについて
- 7. 認定取り消しルール
- 8. 今後のバージョンアップ計画
- 9. 参考情報

	クッキーバナー表示		ネット取引		
	表示あり	表示なし	金銭の授受あり	金銭の授受ないが 個人情報活用あり	金銭の授受なし 個人情報活用なし
当該サイトの 審査対象範囲					
全サイト共通の 審査対象範囲					

	クッキーバナー表示		ネット取引		
	表示あり	表示なし	金銭の授受あり	金銭の授受ないが 個人情報活用あり	金銭の授受なし 個人情報活用なし
当該サイトの 審査対象範囲			例 ● 会員登録が 必要なECサイト ● 会員登録が 不要なECサイト ● サブスク サービスサイト	例 ● 会員登録が 必要な求人サイト	例 ● 賞品発送のみの 目的で個人情報 取得するキャン ペーンサイト
全サイト共通の 審査対象範囲					

	クッキーバナー表示		ネット取引		
	表示あり	表示なし	金銭の授受あり	金銭の授受ないが 個人情報活用あり	金銭の授受なし 個人情報活用なし
当該サイトの 審査対象範囲	A.クッキーバナー		B.購入前 最終確認画面		
全サイト共通の 審査対象範囲	C.組織的対策				



現時点では審査員により判断がぶれる恐れあり。
継続的に研究が必要で、Version 2.0以降で審査対象とすることを検討中。

選定方針①

審査員により判断がぶれないこと

- ・ **審査の公平性の観点から、ver1.1では審査員によって判断がぶれない項目を審査対象とした**
 - 「在庫があとわずか」「キャンペーンまもなく終了」といった、ダークパターンと分類されるデザインも消費者にとって有益な場合もあるため、一概にダークパターンとは言えない。
そのため、審査員によって判断が変わる恐れがある
 - 消費者心理を過度に事業者には利便な方向へ誘導する度合いを定量的に計ることができる・どこからがダークパターンなのかの線引きを言語化できる等、一定の条件を満たした場合に、審査対象に引き上げることを検討
 - 現状の被害が大きいことから、上記の研究を待つよりも速やかに制度を開始し、バージョンアップをしながら審査範囲を広げていく方が消費者被害軽減に有益と考えた
 - この審査員により判断がぶれないことを前提に、右の②の選定方針をとった

選定方針②

大きな問題からつぶしていく

- ・ **A. クッキーバナー（個人情報詐取の入口対策）**
 - 3rd Party Cookieに代表される行動動態の外部送信後のプロファイリングを元に、詐欺広告の表示などで個人情報を詐取する入口に使われるため、適切な本人関与機会の提供が重要
 - 不親切なオプトアウト設定をしたり、拒否しても情報を取得し続けている等、**ダークパターンといえる事業者優位なバナー設定になっているケースが多く見られる**
- ・ **B. 購入前最終確認画面（金銭的被害の出口対策）**
 - 金銭的被害の一番の原因が購入前最終確認画面での重要事項が正しく消費者に伝わっていないこと
 - 特定商取引法でも規制されているが、事業者・消費者双方に**分かりやすく伝えることが必要**

選定方針③

ダークパターンを生み出しにくい/発生しても自浄作用が働く組織の重要性

・ C. 組織的対策

- 現状の問題として、消費者団体からダークパターンが疑われるクレームが入っても、**真摯に対応しない/他人事と捉えている事業者が多数存在する**
- ダークパターンは消費者からの信頼を失うことであり、“**会社の問題**”として**重く捉えてもらうことが必要**
- 「**そもそもダークパターンを生み出さない/発生しても自浄作用が働く**」といったダークパターン対応に向けた**組織的ガバナンスがとれていることが重要**
 - ウェブサイトの規模や歴史にもよるが、組織内の人員の入れ替わりや時間の経過に伴い、ウェブサイトの管理を一人で行うことは難しくなっている
 - その結果、意図せずダークパターンが発生する可能性もあり、これはどの企業でも起こり得る問題である
 - そのため、組織として迅速に是正策を講じる体制やレビュープロセスを確立し、ダークパターン対応に向けた教育を行うなど、組織的なガバナンスを強化することが重要

クッキーバナー	当該Webサイトで、クッキー等の外部送信技術を活用している場合は審査対象とする (必須クッキーのみの活用であれば審査対象外)
購入前最終確認画面	当該対象Webサイトで、金銭の授受が発生する電子商取引を扱う場合は審査対象とする
組織的対策	上記いずれかの審査範囲に申込される場合はあわせて審査対象とする

申込できる組み合わせ	パターン1	クッキーバナー	&	購入前最終確認画面	&	組織的対策
	パターン2	クッキーバナー			&	組織的対策
	パターン3			購入前最終確認画面	&	組織的対策

クッキーバナー

クッキーバナーの**スクリプト単位**で審査します。
スクリプトが異なる場合、サブドメインやサブディレクトリ毎に申込が必要です。

購入前最終確認画面

ドメインごと、また、それを管轄する責任者ごとに申込が必要です。

組織的対策

組織的対策に独自の申込単位はありません。

クッキーバナー、購入前最終確認画面の申込をいただければあわせて審査します。

クッキーバナー

クッキーバナーの**スクリプト単位**で審査します。

スクリプトが異なる場合、サブドメインやサブディレクトリ毎に申込が必要です。

クッキーバナー

例①：1種類のスク립トがexample.com配下に実装されている場合

申込1：example.com



HTML
<script>クッキーバナー1</script>



HTML
<script>クッキーバナー1</script>



HTML
<script>クッキーバナー1</script>



HTML
<script>クッキーバナー1</script>

クッキーバナー

例②： example.com配下の複数サブドメインで、それぞれ独自のスクリプトが実装されている場合

申込1：aaa.example.com



HTML
<script>クッキーバナー**1**</script>



HTML
<script>クッキーバナー**1**</script>

申込2：bbb.example.com



HTML
<script>クッキーバナー**2**</script>



HTML
<script>クッキーバナー**2**</script>

クッキーバナー

例③： example.com配下の複数サブディレクトリで、それぞれ独自のスクリプトを実装されている場合

申込1： example.com/xxx



HTML
<script>クッキーバナー1</script>

申込2： example.com/yyy



HTML
<script>クッキーバナー2</script>

購入前最終確認画面

ドメインごと、また、それを管轄する責任者ごとに申込が必要です。

購入前最終確認画面

例①：同一責任者の管轄で、ドメインも同じ場合



購入前最終確認画面

例②：同一責任者の管轄であっても、ドメインが異なる場合



購入前最終確認画面

例③：ドメインが同一だが、配下のサブドメイン・サブディレクトリを管轄する責任者が異なる場合

Webサイト	1) 責任者	2) ドメイン	
	 鈴木	https://example.com/xxx	申込1
	 佐藤	https://example.com/yyy	申込2
	 渡辺	https://aaa.example.com	申込3

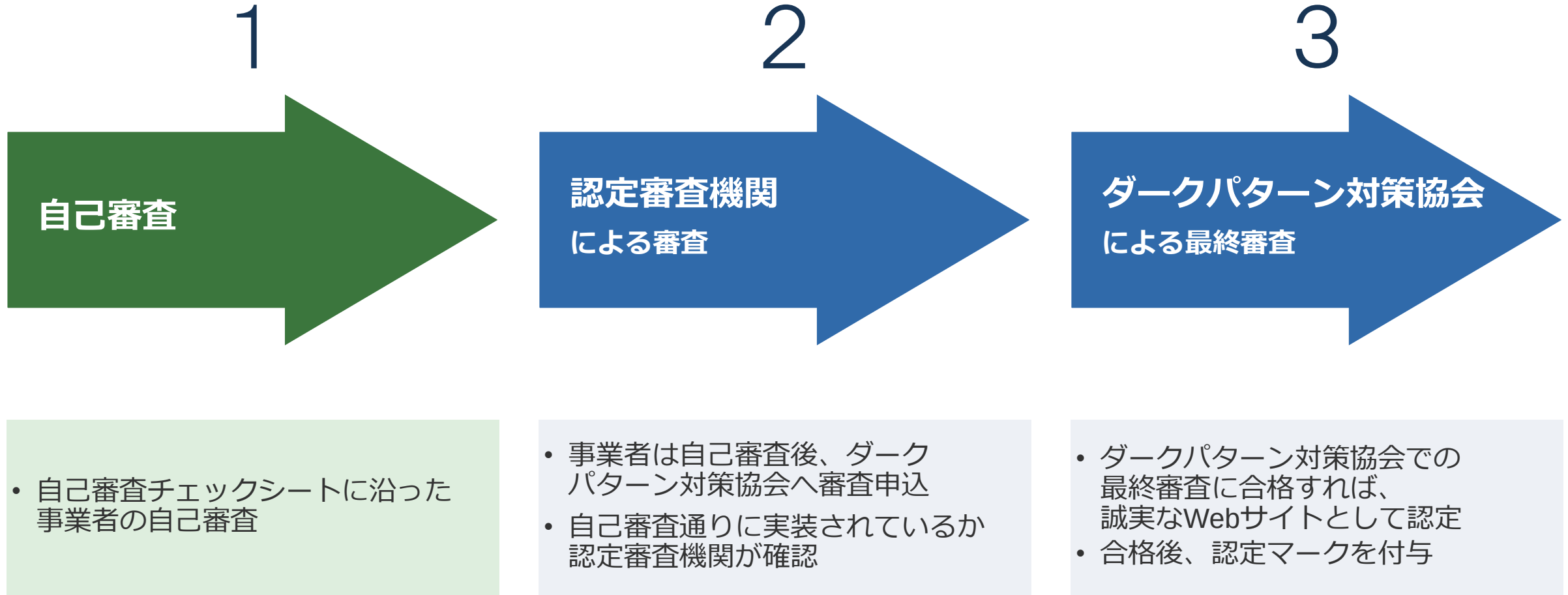
EXAMPLE社
動画サブスクサイト

組織的対策

組織的対策に独自の申込単位はありません。

クッキーバナー、購入前最終確認画面の申込をいただければあわせて審査します。

三段階の審査による厳しいチェック

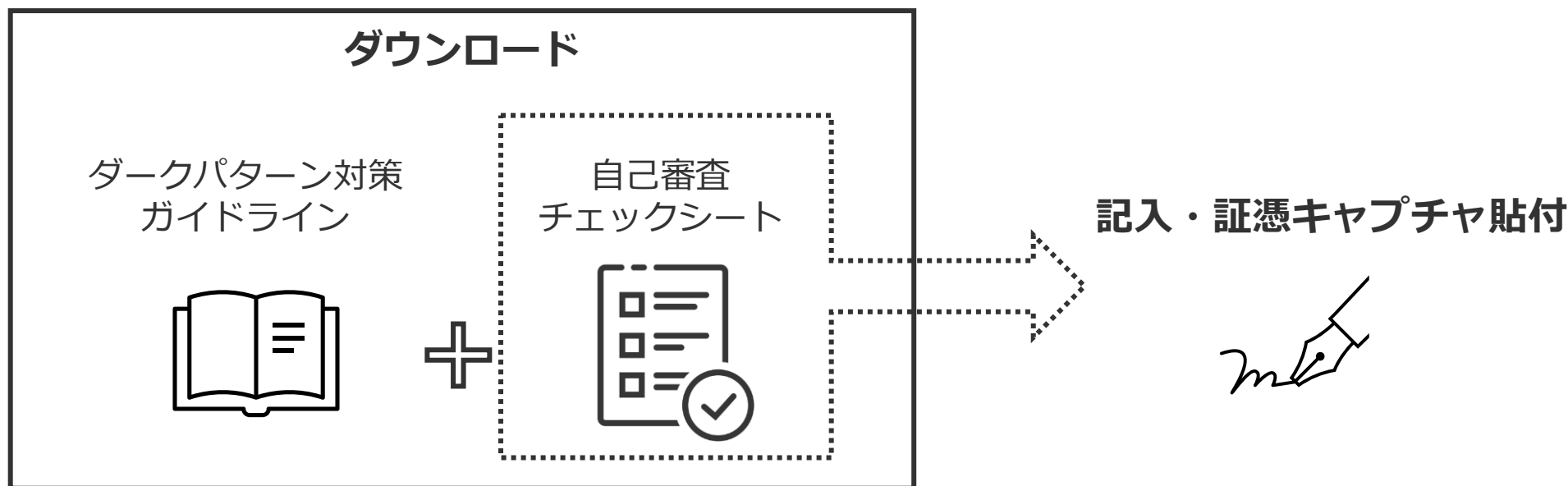


当協会Webサイトで審査規約を確認し、「**自己審査チェックシート（審査対象編）**」をダウンロードします。ダークパターン対策ガイドラインおよび自己審査チェックシートに沿って事業者で自己審査を実施し、審査結果を自己審査チェックシートに記入します。

不適合箇所があった際は是正対応し、審査範囲の全確認項目に適合するようにします。

（補足）

- ✓ ガイドラインで「審査対象」に区分された項目を審査します。
- ✓ 「組織的対策」の証憑として規程類を提示する際、該当箇所の画面キャプチャを自己審査チェックシート内に貼付する等、審査員が明確に分かるようにしてください。





「ユーザーからの見え方」を評価する審査範囲は、PC画面・スマホ画面両方で審査を行います。
自己審査だけでなく、後続の認定審査機関、およびダークパターン対策協会による審査でも同様です。
どのデバイスから閲覧しても、ガイドラインの基準を満たしていることを確認します。
該当審査範囲では自己審査チェックシートにPC画面・スマホ画面両方のキャプチャ（証憑）を貼付します。

審査範囲

審査画面



A.クッキーバナー

A-1. デザイン



A-2. 制御



クッキーバナーのデザイン

クッキーバナーのデザインをチェック

クッキーの制御

クッキーバナーにおける同意や拒否の操作に合わせて、
クッキー制御が正しく行われているかどうかをチェック

B. 購入前最終確認画面



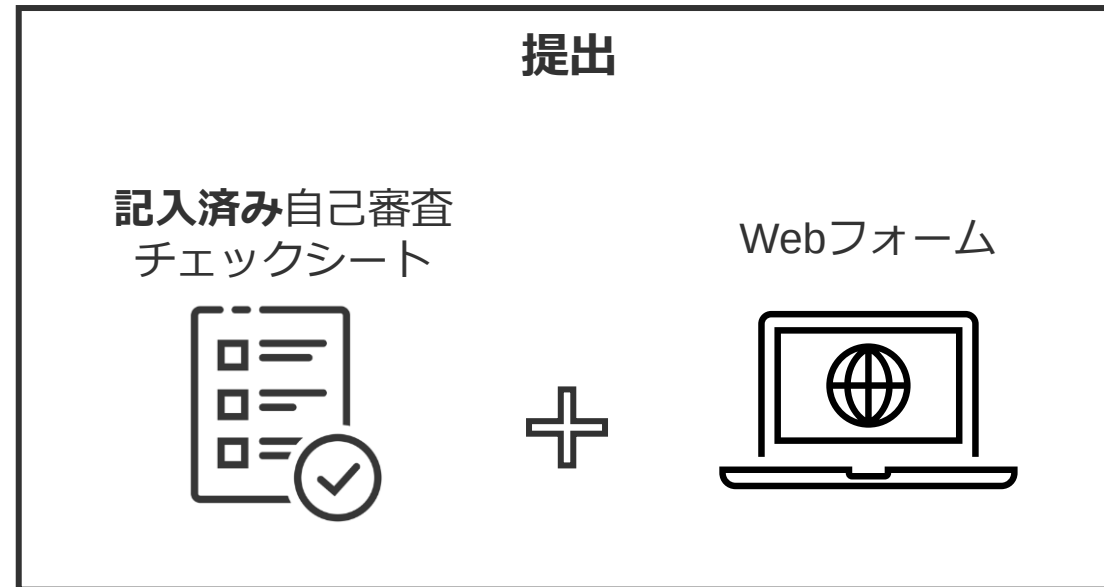
C. 組織的対策



自己審査（自己審査チェックシート記入後）

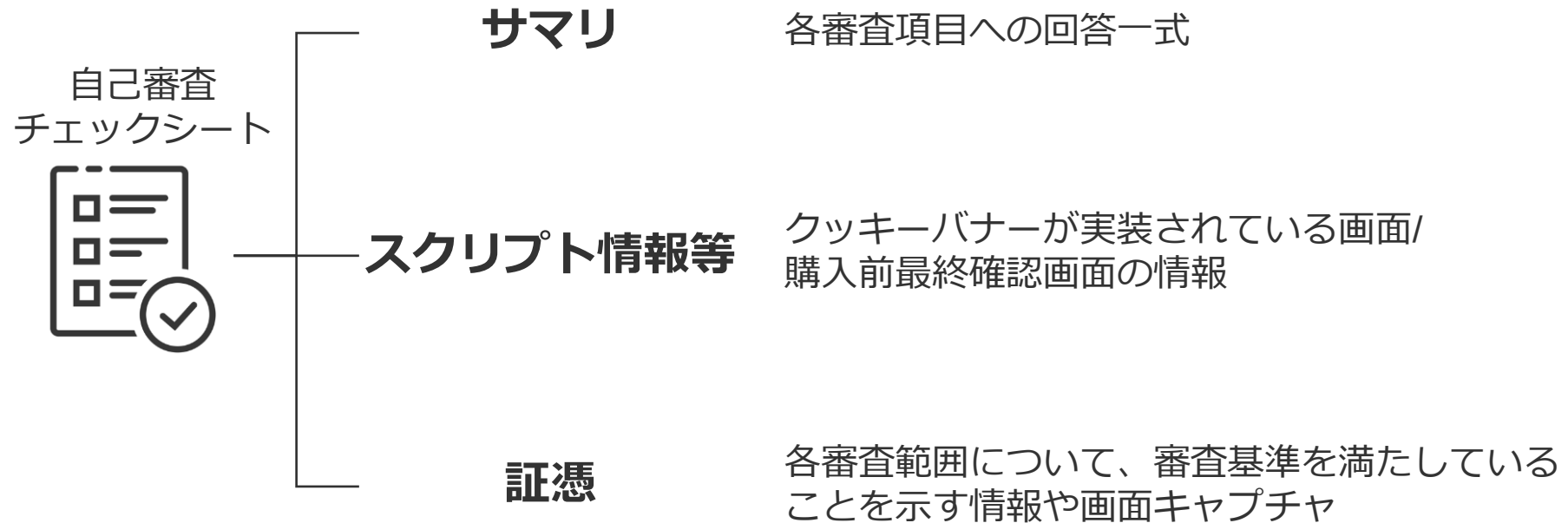


当協会Webサイトから審査見積のフォームを入力し、記入済み自己審査チェックシートを提出します。
提出から数営業日以内に、当協会から審査費用の見積と審査費用の支払方法を含むその後の案内を提示します。
事業者で見積結果を確認の上、正式申込や審査費用の支払いを行います。
その後、認定審査機関による一次審査に進みます。





自己審査チェックシートは「サマリ」「スクリプト情報」「審査基準を満たしていることを示せる証憑」の大きく3要素で構成されています。



自己審査チェックシート：サマリシート



申込情報を記入します。
また、各証憑シートの記入内容がサマリシートに自動反映され、一覧で確認ができます。

ダークパターン対策自己審査チェックシート

バージョン1.1（2025年公開）
一般社団法人ダークパターン対策協会

◆申込情報

企業・団体名称	フリガナ	
責任者名	フリガナ	
		メールアドレス

◆審査対象サイト

提供サービス		
スコープ（自動反映）	スコープ 1 クッキーバナー	
	スコープ 2 購入前最終確認画面	
	スコープ共通 組織的対策	

スコープ2_購入前最終確認画面」が対象の場合、自己審査が必要)

	審査実施日	審査結果	不適合であった場合のみ是正後に記入	
			是正完了日	是正内容
1.4.2.1.1】 記載、またはわかりにくい表示をしていないこと。 解約や返品にかかる費用（解約にかかる手数料、返品時 など） 価・支払時期・引渡し時期				
1.4.2.1.2】 画面上において消費者が容易に認識しやすいように表示せ らの重要項目の含まれた規約に同意したものとみなす画 読まずに購入させるような誘導をしていないこと。				
1.4.2.1.3】 などについて、誤認を招く表示をしていないこと。				
【5.1.4.2.6 こっそりカートへ - 5.1.4.2.6.1】 4 消費者自身の操作でカートに追加していない商品・サービスがカートに入れる手法を 取っていないこと。				
【5.1.4.2.7 隠されたコスト - 5.1.4.2.7.1】 5 商品購入・サービス利用にかかる費用を消費者に認識しにくく表示したり、取引の後 期段階（購入前最終確認画面）になってから、追加でかかる必要な費用明らかにした りする手法を取っていないこと。				
【5.1.4.2.8 隠された定期購入 - 5.1.4.2.8.1】 6 契約が1回限りではなく定期購入である場合、その旨の説明がわかりにくいこと と、および1回限りの購入のように誤認を招く表示になっていないこと。				
【5.1.4.2.8 隠された定期購入 - 5.1.4.2.8.2】 7 契約が1回限りではなく定期購入である場合、各回に引き渡す商品の数量、引渡しの 回数、各回の代金の支払時期、各回の商品の引渡し時期も表示していること。				



クッキーバナーが実装されているWebサイトのスクリプト種類（単位）、および電子商取引を扱うWebページのドメイン/サブドメイン等の情報を記入します。

クッキーバナーが実装されている
Webサイトのスクリプト種類（単位）

スクリプト種類	トップレベルのドメインまたはサブドメインまたはサブディレクトリ

金銭の授受が発生する電子商取引を扱う
Webページのドメインまたはサブドメイン情報

No.	トップレベルのドメインまたはサブドメイン
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	



クッキーバナーについては、審査員の判断材料となるクッキー情報を記入します。

Webサイトで取得しているクッキー情報

クッキーバナー上の情報		ブラウザ開発者ツール上での情報	
クッキーバナーで同意又はオプトアウトが選択出来る利用目的のカテゴリの名称 (クッキーを利用する企業・サービス毎に同意又はオプトアウトが選択できるようになっている場合は省略し、C列のみに記載)	クッキーを利用する企業名およびサービス名	ブラウザ開発者ツールで表示されるクッキー名	ブラウザ開発者ツールで表示されるDomain

必須クッキー情報

		Q1	Q2		
ブラウザ開発者ツールで表示されるクッキー名	ブラウザ開発者ツールで表示されるDomain	このクッキーが無効になっている場合、Webサイト全体の停止、セキュリティ上の脅威の発生、ネットワークの問題の発生、ショッピングカートのアイテムの維持不能、負荷分散（ロードバランシング）への支障、クッキー同意情報の記録保持への支障など	情報取得の目的は広告に関連していますが（パーソナライズド広告、リターゲティング広告など）		
		Q3	Q4	Q5	Q6
		情報取得の目的はWebサイト利用状況の分析やアクセス経路に関連していますか	情報取得の目的はWebサイトの機能性の拡張に関連していますか	Q4がYESの場合、どのような機能でしょうか	Q2、Q3、Q4が全てNOの場合は、当該クッキーによる情報取得の目的を記載ください

購入前最終確認画面については、審査員が実画面を確認する際に利用できるダミーアカウント情報や、購入前最終確認画面に至るまでの画面遷移キャプチャを記入・貼付します。

ダミーアカウント情報

ECサイト利用のためのダミーアカウント情報	
ダミーアカウントでの正常操作を確認できたECサイトのURL	
ID	
パスワード	
その他	必要な情報があれば記載

購入前最終確認画面に至るまでの画面遷移

▼1. 購入前最終確認画面のキャプチャを添付（PC画面/スマホ画面ともに）

▼2. 購入前最終確認画面に至るまでのキャプチャ3枚程度を添付（PC画面/スマホ画面ともに）



各証憑シートでは審査基準を満たしていることの証憑として確認点や該当キャプチャを記入・貼付します。
クッキーバナーの一部項目では、ブラウザ開発ツールを用いて確認してください。
(本資料末尾にブラウザ開発者ツールの参考情報あり)

5.1.5.4.2 「透明性」に関する確認- 内容の真正性の確認

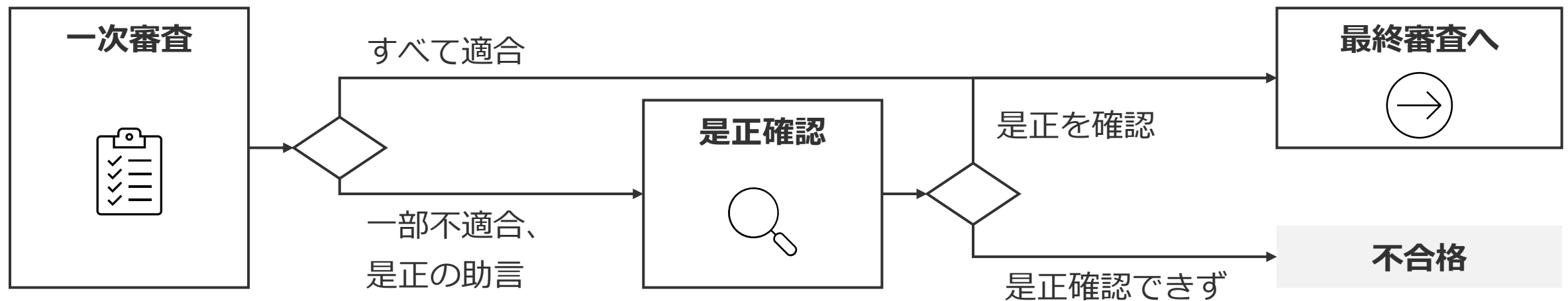
確認項目	(<u>ブラウザの開発者ツール</u> を確認し、実際にWebサイトで利用されているクッキーを確認したうえで、) 前項の5.1.5.4.1-(a)および5.1.5.4.1-(b)で掲示をしている情報に洩れや記載上の間違いがないこと。
確認結果 -審査時の確認点 -キャプチャ	

自己審査チェックシートの申告通りに、事業者のWebサイトが実装・運用されているかを、当協会の認定審査機関で一次審査をします。

- 一次審査の結果、審査対象の全確認項目について適合が認められた場合は、後続の最終審査に進みます。
- 一次審査の結果、不適合箇所があった場合は、審査員から事業者へ是正に向けたアドバイスを提示します。
 - ・ 期限内に審査員が是正を確認できた場合 : 後続の最終審査に進みます。
 - ・ 期限内に審査員が是正を確認できない場合 : 事業者へ不合格を通知します。

(補足)

✓ 審査員から事業者へ、内容の問合せをする場合があります。

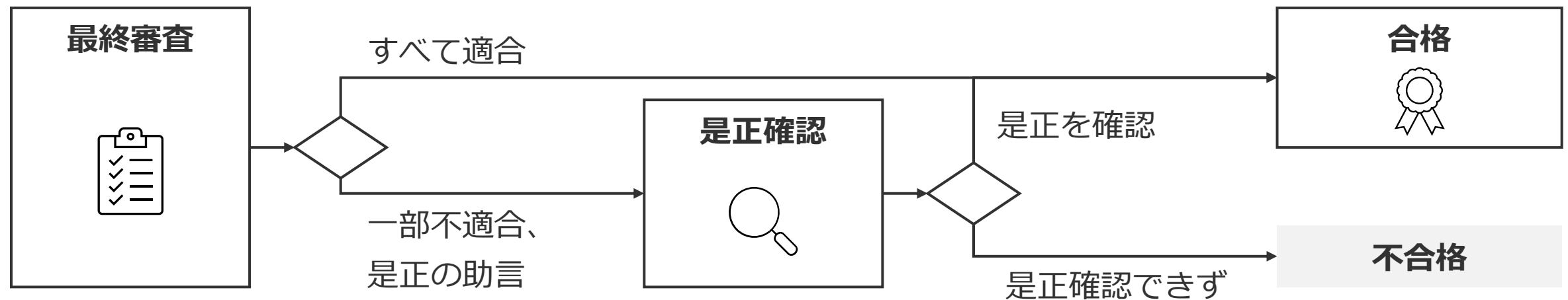


一次審査を通過した場合、当協会の企業審査局で最終審査をします。
合格の場合、合格通知や登録料支払方法等の案内提示があるので、確認の上、登録料を支払います。

- 最終審査の結果、審査対象の全確認項目について適合が認められた場合は、合格を通知します。
- 最終審査の結果、不適合箇所があった場合は、審査員から事業者へ是正に向けたアドバイスを提示します。
 - ・ 期限内に審査員が是正を確認できた場合 : 事業者へ合格を通知します。
 - ・ 期限内に審査員が是正を確認できない場合 : 事業者へ不合格を通知します。

(補足)

✓ 審査員から事業者へ、内容の問合せをする場合があります。



再審査

一次審査あるいは最終審査で不合格となった場合でも、再審査費用を支払うことで、再び審査申込をすることが可能です。

更新

NDD認定の有効期限は1年間です。

前回の登録から10カ月を過ぎた時点より、更新審査の申込みができます。

審査範囲や対象項目等がアップデートされる可能性があるため、更新時には最新版資料を確認してください。

1申込単位の費用です。4申込以上の場合は、別途お見積となりますので、ダークパターン対策協会（enquiry@ndda.net）までご連絡ください。

	大企業	中小企業*1
(単位：円)		
スコープ① クッキーバナー（1万ページ未満のWebサイト）		
初回審査料	171,000	57,000
再審査料（不合格時）	108,000	36,000
更新審査料*2	144,000	48,000
スコープ① クッキーバナー（1万ページ以上のWebサイト）		
初回審査料	243,000	81,000
再審査料（不合格時）	162,000	54,000
更新審査料*2	216,000	72,000
スコープ② 購入前最終確認画面		
初回審査料	153,000	51,000
再審査料（不合格時）	90,000	30,000
更新審査料*2	108,000	36,000
スコープ共通 組織的対策		
初回審査料	90,000	30,000
再審査料（不合格時）	54,000	18,000
更新審査料*2	72,000	24,000
登録料		
登録料（年額）	36,000	12,000
参考：正会員年会費（一口）	50,000	10,000

*1：中小企業：資本金（出資金）1億円以下の企業。なお資本金5億円以上大企業の100%子会社等は大企業とみなします。
*2：前年と同じ審査対象、もしくは前年より対象が減った場合の更新審査料。前年と違う範囲の場合は初回審査を受ける必要がございます。

審査料計算例

- 条件例1：中小企業
- 条件例2：初回審査
- 条件例3：申込単位
 - ✓ クッキーバナー（1万ページ以上のWebサイト）・・・3申込
 - ✓ 購入前最終確認画面・・・2申込
 - ✓ 組織的対策・・・1申込

この例の場合、初回審査料が375,000円になります。
81,000円 * 3申込 + 51,000円 * 2申込 + 30,000円 * 1申込
= 375,000円

なお、合格後に別途登録料12,000円が必要になります。

中小企業*1

(単位：円)

スコープ① クッキーバナー（1万ページ未満のWebサイト）	
初回審査料	57,000
再審査料（不合格時）	36,000
更新審査料*2	48,000
スコープ① クッキーバナー（1万ページ以上のWebサイト）	
初回審査料	81,000
再審査料（不合格時）	54,000
更新審査料*2	72,000
スコープ② 購入前最終確認画面	
初回審査料	51,000
再審査料（不合格時）	30,000
更新審査料*2	36,000
スコープ共通 組織的対策	
初回審査料	30,000
再審査料（不合格時）	18,000
更新審査料*2	24,000
登録料	
登録料（年額）	12,000

- 1. NDD認定制度ができた背景
- 2. NDD認定制度の目的
- 3. 審査・認定の仕組み
- 4. 認定マークとその種類**
- 5. 認定マークの表示ルールと仕組み
- 6. ダークパターン・ホットラインについて
- 7. 認定取り消しルール
- 8. 今後のバージョンアップ計画
- 9. 参考情報

NDD認定制度



組織的対策（GOLDランク）

クッキーバナー（GOLDランク）

購入前最終確認画面（GOLDランク）

NDD認定に合格した場合、審査範囲に沿ってWebサイト上に認定マークを掲示します。認定スコープごとに認定マークのデザインが異なります。

また、認定マークの最下部に、認定継続年数に応じたランク色を表示します。

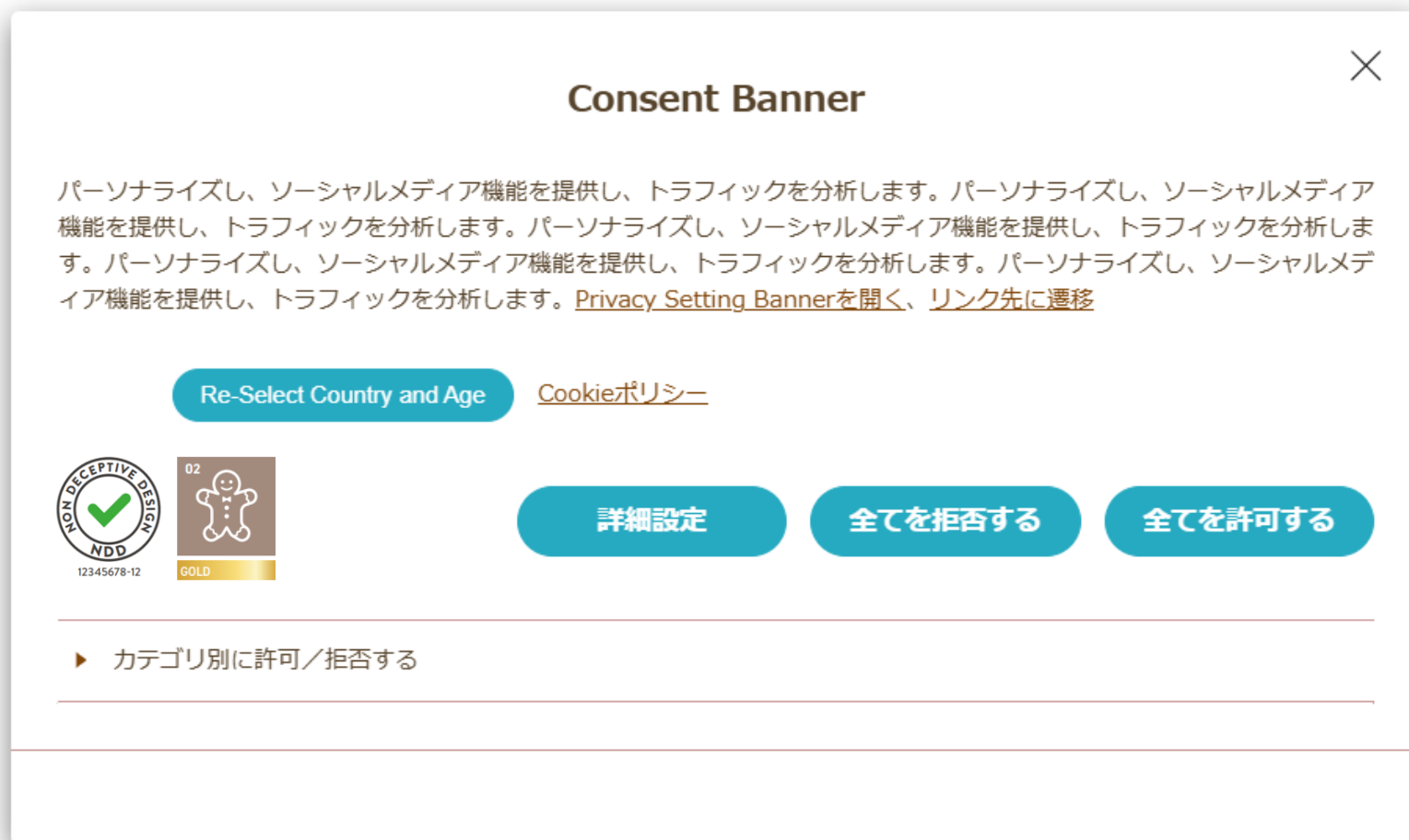
- ・ゴールドランク：認定継続2年以上
- ・シルバーランク：認定継続1年以上2年未満
- ・ブロンズランク：認定継続1年未満

今後新しい認定範囲が出てきた場合にはアイコンを追加予定。

現時点では、「商品・サービス説明画面」と「個人情報の取扱い」の2類型について、将来審査対象になった際にアイコンを追加する想定。

1. NDD認定制度ができた背景
2. NDD認定制度の目的
3. 審査・認定の仕組み
4. 認定マークとその種類
- 5. 認定マークの表示ルールと仕組み**
6. ダークパターン・ホットラインについて
7. 認定取り消しルール
8. 今後のバージョンアップ計画
9. 参考情報





electornics

注文内容の最終確認（TV）

[TOPページ](#) / [注文内容の最終確認（TV）](#)



50V型フルハイビジョン
液晶テレビ

数量：1

価格：68,800 円

鮮明なフルHD映像とクリアな音質を提供しま
す。薄型デザインで省スペースに設置可能、LED
バックライトで省エネ効果も抜群。HDMI端子や
USBポートを搭載し、さまざまなデバイスとの接
続が簡単に行えます。

■小計（税込）
68,800 円

■送料（税込）
無料

■合計（税込）
68,800 円



03



GOLD

■お支払い方法・お支払い時期について

お支払いはクレジットカード決済となります。お支払い時期は、ご利用のクレジットカード会社の定める条
件をご確認ください。

■お届けする製品・お届け時期について

- 液晶テレビ：1体 本商品の使用に必要な付属品（ケーブル・電源コード）：2本 をお届けいたします。
- クレジットカードによる決済完了後、3日以内に発送いたします。

■ご注文完了後のキャンセル・返品について

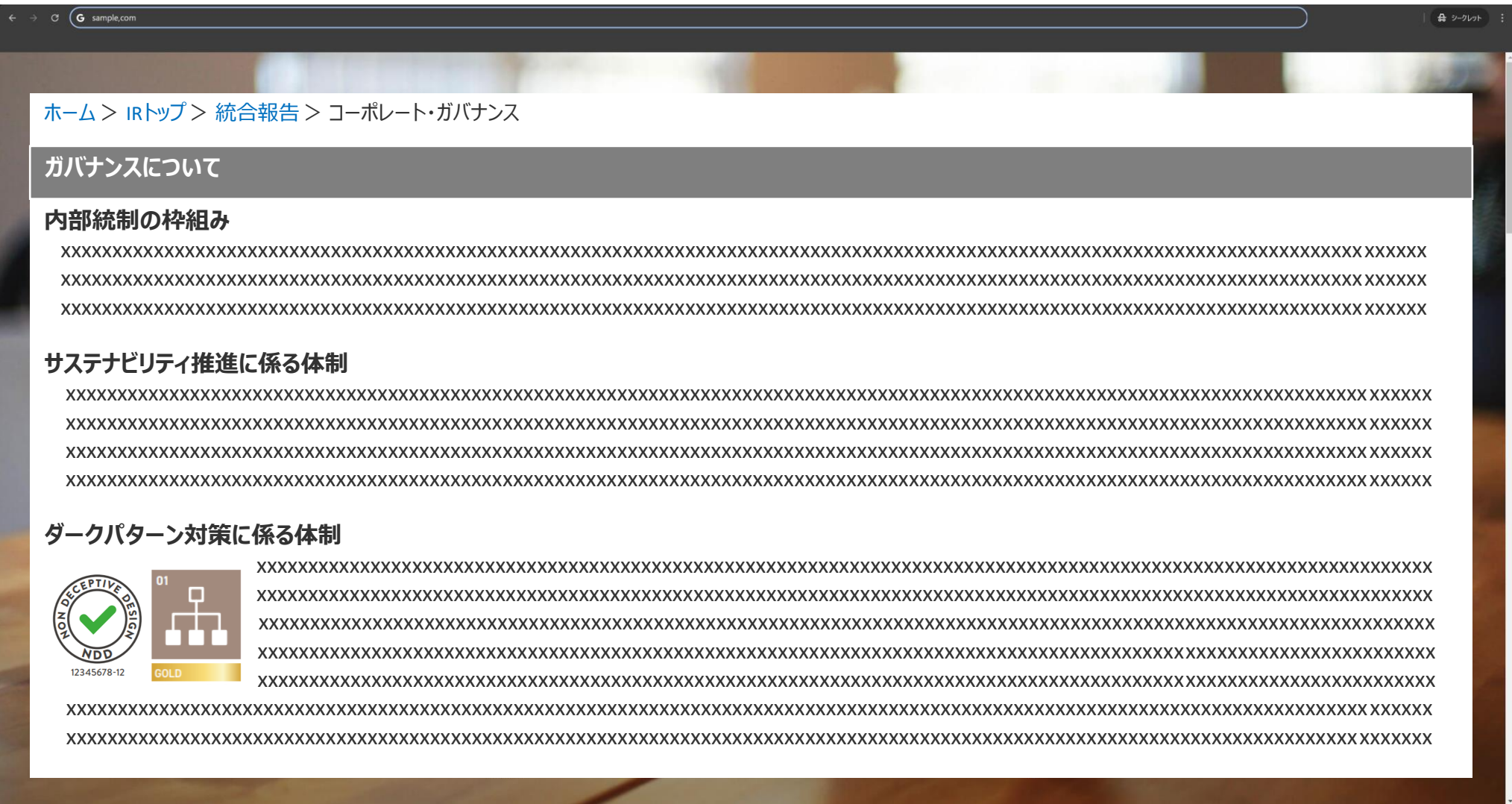
- ご注文完了後24時間以内
無料でキャンセルいただけます。
注文確定メールに記載のURLよりキャンセル手続きをお願いします。
- 24時間経過後
商品に初期不良や不具合がある場合を除き、返金・交換・修理は承っておりません。
初期不良や不具合がある場合には、新品との交換で対応いたします。着払いにて以下にご返送ください。
返送先：electornics 商品担当部 123-4567東京都XX区XXXX XX-XX
初期不良や不具合であっても、返金・修理はできませんのでご了承ください。

注文を確定する

[TOPページに戻る](#)

©一般社団法人ダークパターン対策協会

52



リンク掲載で代替する場合 例1a クッキーバナー上（スコープ①クッキーバナー 認定）



×

Consent Banner

パーソナライズし、ソーシャルメディア機能を提供し、トラフィックを分析します。パーソナライズし、ソーシャルメディア機能を提供し、トラフィックを分析します。パーソナライズし、ソーシャルメディア機能を提供し、トラフィックを分析します。パーソナライズし、ソーシャルメディア機能を提供し、トラフィックを分析します。パーソナライズし、ソーシャルメディア機能を提供し、トラフィックを分析します。[Privacy Setting Bannerを開く](#)、[リンク先に遷移](#)

Re-Select Country and Age

[Cookieポリシー](#)

[NDD認定について](#)

詳細設定

全てを拒否する

全てを許可する

▶ カテゴリ別に許可／拒否する

electornics

注文内容の最終確認（TV）

[TOPページ](#) / 注文内容の最終確認（TV）



50V型フルハイビジョン
液晶テレビ

数量：1

価格：68,800 円

鮮明なフルHD映像とクリアな音質を提供します。薄型デザインで省スペースに設置可能、LEDバックライトで省エネ効果も抜群。HDMI端子やUSBポートを搭載し、さまざまなデバイスとの接続が簡単に行えます。

■小計（税込）
68,800 円

■送料（税込）
無料

■合計（税込）
68,800 円

■お支払い方法・お支払い時期について

お支払い方法はクレジットカード決済となります。お支払い時期は、ご利用のクレジットカード会社の定める条件をご確認ください。

■お届けする製品・お届け時期について

- 液晶テレビ：1体 本商品の使用に必要な付属品（ケーブル・電源コード）：2本 をお届けいたします。
- クレジットカードによる決済完了後、3日以内に発送いたします。

■ご注文完了後のキャンセル・返品について

- ご注文完了後24時間以内
無料でキャンセルいただけます。
注文確定メールに記載のURLよりキャンセル手続きをお願いします。
- 24時間経過後
商品に初期不良や不具合がある場合を除き、返金・交換・修理は承っておりません。
初期不良や不具合がある場合には、新品との交換で対応いたします。着払いにて以下にご返送ください。
返送先：electronics 商品担当部 123-4567東京都XX区XXXX XX-XX
初期不良や不具合であっても、返金・修理はできかねますのでご了承ください。

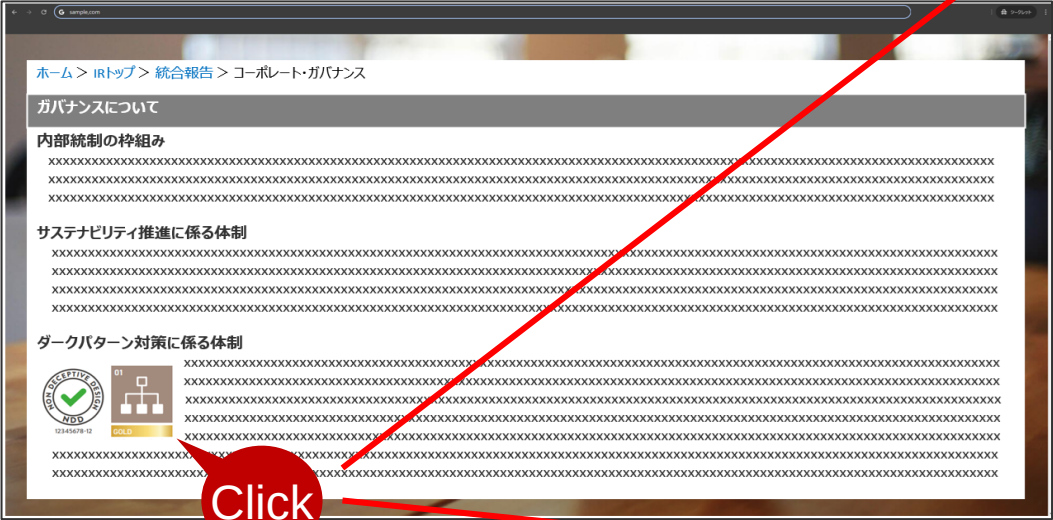
注文を確定する

[TOPページに戻る](#)

NDD認定について



認定情報表示画面 – 表示の仕組み

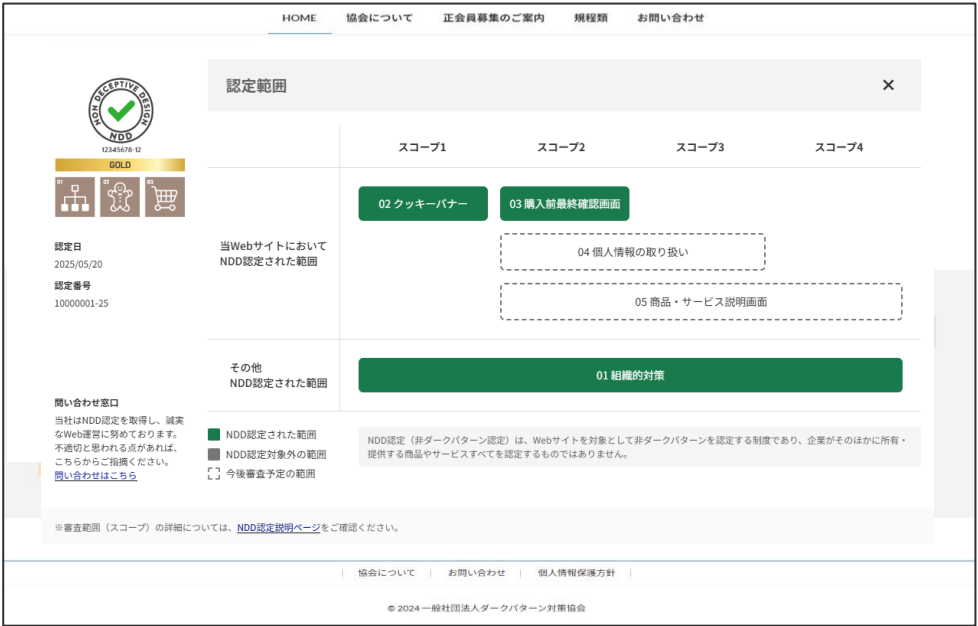
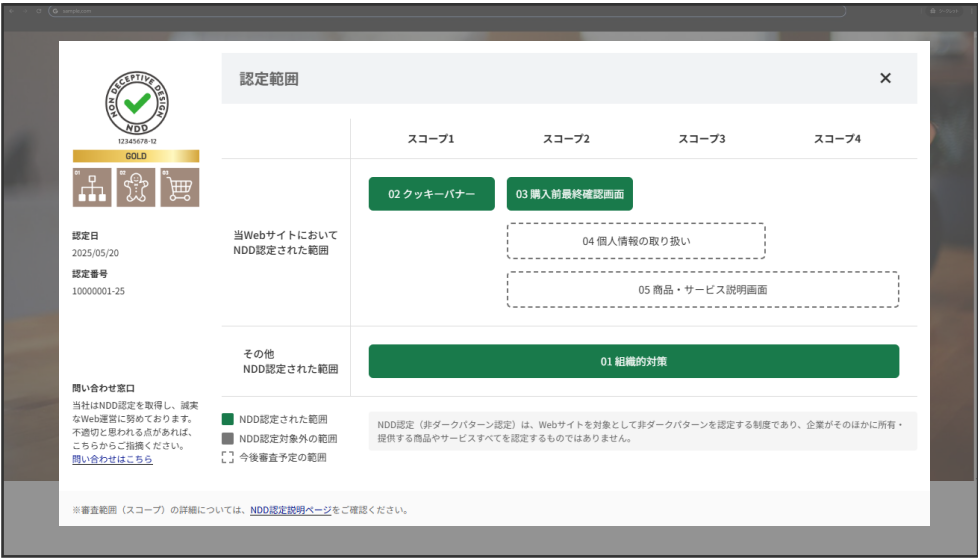


認定マークをクリック
(組織的対策認定の画面の例)

ポップアップで
NDD認定情報を表示

事業者側で選択

別ページに遷移し
NDD認定情報を表示



認定情報表示画面 – 画面イメージ（認定範囲が全ての場合）



12345678-12

GOLD

01

02

03

認定日

2025/05/20

認定番号

10000001-25

問い合わせ窓口

当社はNDD認定を取得し、誠実なWeb運営に努めております。不適切と思われる点があれば、こちらからご指摘ください。

[問い合わせはこちら](#)

認定範囲

×

	スコープ1	スコープ2	スコープ3	スコープ4
当Webサイトにおいて NDD認定された範囲	02 クッキーバナー	03 購入前最終確認画面	04 個人情報の取り扱い	05 商品・サービス説明画面
その他 NDD認定された範囲	01 組織的対策			

NDD認定された範囲

NDD認定対象外の範囲

今後審査予定の範囲

NDD認定（非ダークパターン認定）は、Webサイトを対象として非ダークパターンを認定する制度であり、企業がそのほかに所有・提供する商品やサービスすべてを認定するものではありません。

※審査範囲（スコープ）の詳細については、[NDD認定説明ページ](#)をご確認ください。

認定情報表示画面 – 画面イメージ（認定範囲が一部の場合）

GOLD

01

03

認定日

202

認定

100

認定済のアイコンのみが表示（左詰め表示）。
例：認定範囲が以下 2 つの場合
01：組織的対策
03：購入前確認画面

お問い合わせ窓口

当社はNDD認定を取得し、誠実なWeb運営に努めております。不適切と思われる点があれば、こちらからご指摘ください。
[お問い合わせはこちら](#)

※審

問い合わせ先メールアドレスを表記することも可能。

認定範囲

認定済の場合は緑色、未認定の場合はグレーで表示。

スコープ1

スコープ2

スコープ3

スコープ4

02 クッキーバナー

03 購入前最終確認画面

04 個人情報の取り扱い

05 商品・サービス説明画面

その他
NDD認定された範囲

01 組織的対策

NDD認定された範囲

NDD認定対象外の範囲

今後審査予定の範囲

NDD認定（非ダークパターン認定）は、Webサイトを対象として非ダークパターンを認定する制度であり、企業がそのほかに所有・提供する商品やサービスすべてを認定するものではありません。

※審

、[NDD認定説明ページ](#)をご確認ください。

Under Review

GOLD

01

02

03

是正対応中の場合は、審査中のステータスを示すワッペン（Under Review）を表示。

是正対応中のため、認定日・認定番号は表示されない。

問い合わせ窓口

当社はNDD認定を取得し、誠実なWeb運営に努めております。不適切と思われる点があれば、こちらからご指摘ください。

[問い合わせはこちら](#)

認定範囲

×

	スコープ1	スコープ2	スコープ3	スコープ4
是正対応中の場合は元々認定されていた範囲もグレーで表示。	02 クッキーバナー	03 購入前最終確認画面	04 個人情報の取り扱い	05 商品・サービス説明画面
当WebサイトにおいてNDD認定された範囲				
その他NDD認定された範囲	01 組織的対策			

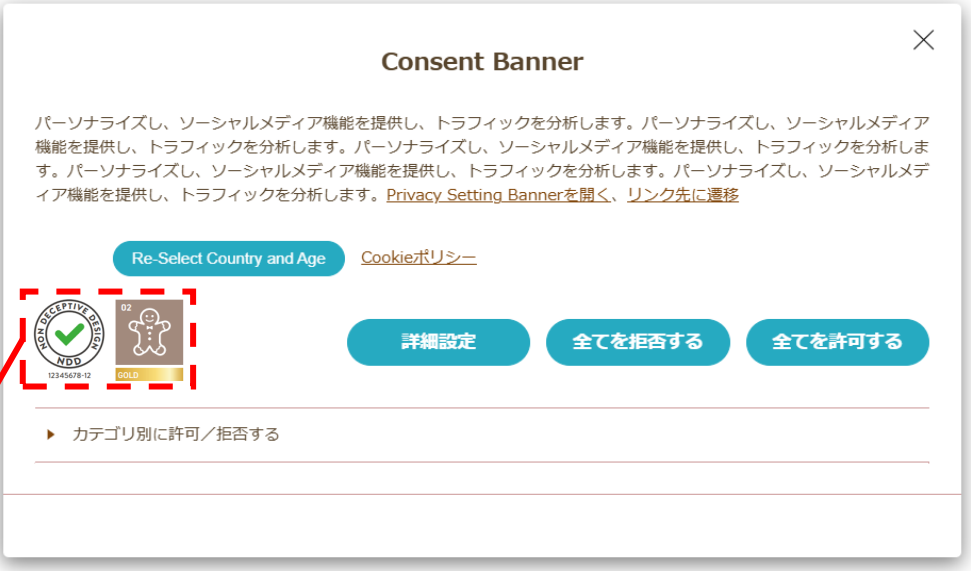
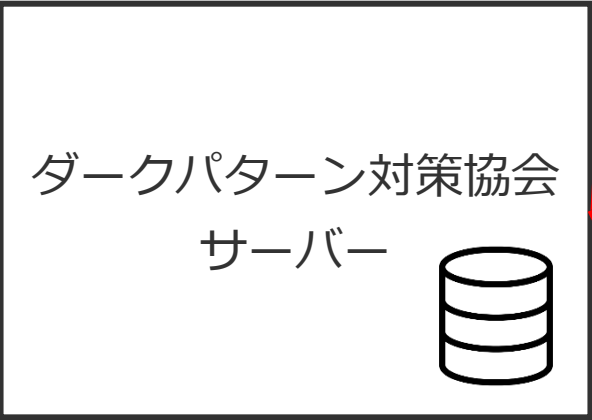
■ NDD認定された範囲

■ NDD認定対象外の範囲

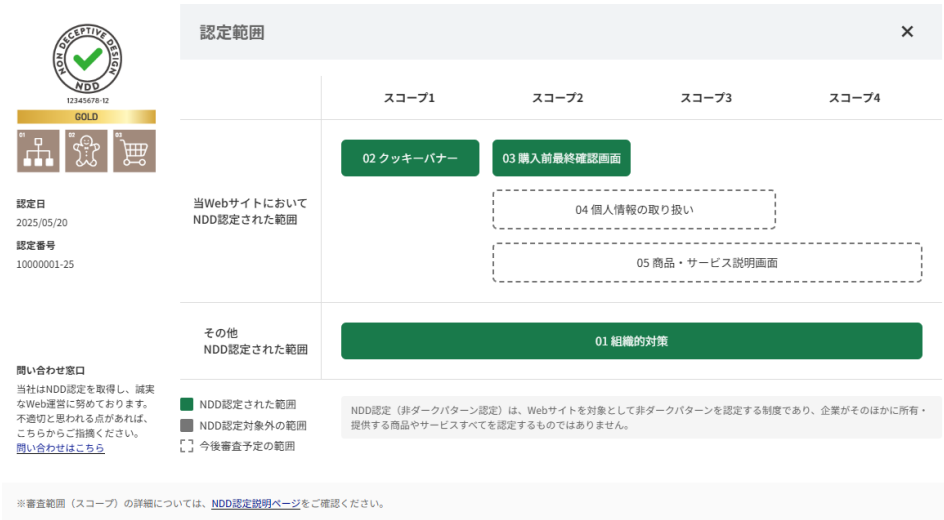
□ 今後審査予定の範囲

NDD認定（非ダークパターン認定）は、Webサイトを対象として非ダークパターンを認定する制度であり、企業がそのほかに所有・提供する商品やサービスすべてを認定するものではありません。

※審査範囲（スコープ）の詳細については、[NDD認定説明ページ](#)をご確認ください。



認定マークをクリック



認定範囲や窓口情報等を表示

（ポップアップ or ページ遷移）

※NDD未認定にもかかわらずフェイクの認定マーク画像を作成する事業者がいた場合も、認定マークをクリックし認定情報画面が表示されるかどうかで判別が可能。

認定されていない場合の表示方法



認定期限が切れた場合など、認定されていない状況では認定マーク自体が表示されない（ポップアップのNDD認定情報は呼び出せない）。



認定期限が切れた場合など、認定されていない状況ではテキストリンクが残るが、ポップアップのNDD認定情報は呼び出せない。

クッキーはウェブサイトからご利用者の端末に記録目的で送信される小さなテキストファイルです。クッキーはご利用者の端末（通常、ウェブブラウザ）を識別しますが、ご利用者個人を直接特定することはありません。

ご利用者はウェブサイトから、当ウェブサイトも、当ウェブサイトの分析パートナー、広告配信事業者やソーシャルメディアなど、当ウェブサイトの運営に不可欠なクッキー以外のクッキーについて許可・拒否を選択することが可能です。

- 1. NDD認定制度ができた背景
- 2. NDD認定制度の目的
- 3. 審査・認定の仕組み
- 4. 認定マークとその種類
- 5. 認定マークの表示ルールと仕組み
- 6. ダークパターン・ホットラインについて**
- 7. 認定取り消しルール
- 8. 今後のバージョンアップ計画
- 9. 参考情報

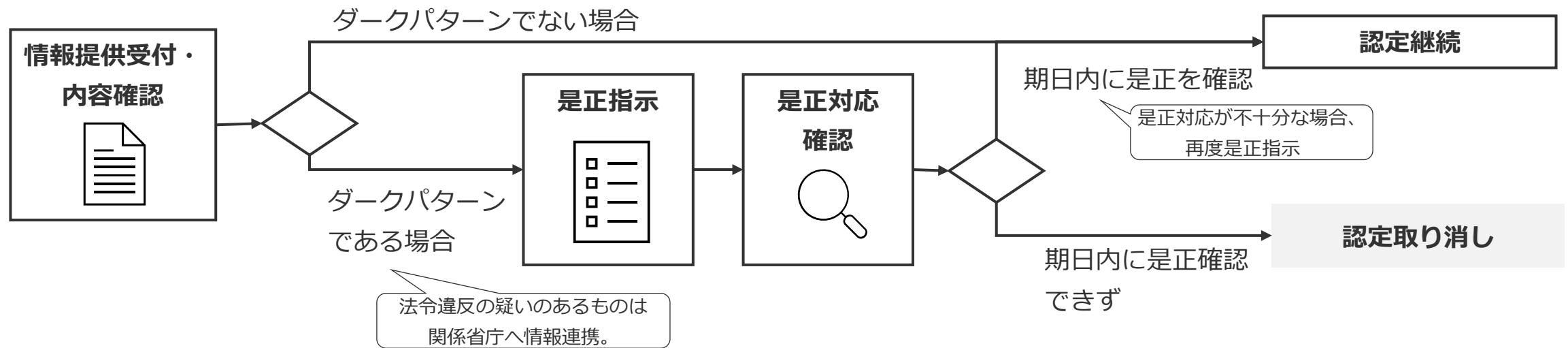
ダークパターン・ホットラインとは？

- NDD認定を受けた事業者の中には、ダークパターン化が確認されるケースも想定されます。
そうした実態を早期に把握するため、一般消費者からの目撃・体験情報を受け付け、必要に応じて改善指示や認定取消を行うことで、NDD認定制度の信頼性を確保し、消費者の保護を図ることが目的です。
- 情報提供者からは対象のURL、問題の内容、証拠となる画像・動画などの情報を提供してもらう想定です。

情報提供受付から認定継続・取消までのフロー

消費者から情報提供を受けたのち当協会側にて内容を確認し、ダークパターンと判断した場合は事業者側に是正指示を行います。

期日内に改善した場合は認定を継続し、改善がなされなかった場合は認定を取り消します。



- 1. NDD認定制度ができた背景
- 2. NDD認定制度の目的
- 3. 審査・認定の仕組み
- 4. 認定マークとその種類
- 5. 認定マークの表示ルールと仕組み
- 6. ダークパターン・ホットラインについて
- 7. 認定取り消しルール**
- 8. 今後のバージョンアップ計画
- 9. 参考情報

NDD認定済みサイトに関するダークパターンの情報提供を受領



ダークパターンを確認した場合、当該事業者の責任者へ是正指示



是正指示から30日以内に是正完了報告が無い場合、NDD認定を取り消し

NDD認定済みサイトに関する
ダークパターンの情報提供を受領



ダークパターンを確認した場合、
当該事業者の責任者へ是正指示



是正指示から30日以内に
是正完了報告が無い場合、NDD認定を取り消し

ダークパターン・ホットラインに連絡があり、当協会が確認する限り、明らかにダークパターンと認められる場合、当協会から当該事業者のダークパターン対策責任者へ是正を指示します。

是正指示中は認定マークに「是正対応中」の旨を表示します。
指示から30日以内に是正策の適用、および当協会への是正完了報告が確認できない場合は認定を取り消します。

当協会の対応

NDD認定済みサイトに関するダークパターンの情報提供を受領



ダークパターンを確認した場合、当該事業者の責任者へ是正指示



是正完了報告の受領後、再びダークパターンの情報提供を受領



監視対象リストへの追加、および状況次第で関連省庁や融資元銀行へ連絡

NDD認定済みサイトに関する
ダークパターンの情報提供を受領

ダークパターンを確認した場合、
当該事業者の責任者へ是正指示

是正完了報告の受領後、
再びダークパターンの情報提供を受領

監視対象リストへの追加、および状況次第で
関連省庁や融資元銀行へ連絡

ダークパターン・ホットラインに2度目の情報提供があった段階で、当該**事業者Webサイトを監視対象**とします。

是正修正後にダークパターンへ戻ることが繰り返されるなど悪質性が高い事業の場合、画面遷移の証拠とともに消費者庁をはじめ**関係省庁に通報するとともに、認定を取り消します**。
関係省庁から行政処分がなされる可能性があります。

同様に、融資元銀行へ情報連携の上、融資見直しがなされる可能性があります。

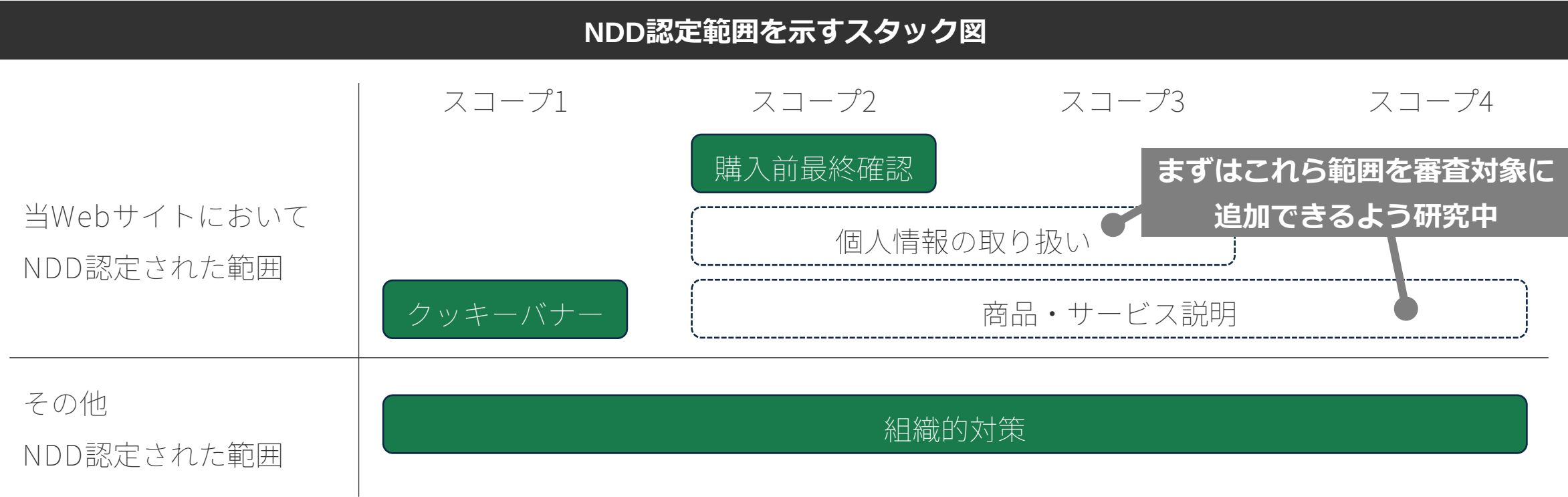
1. NDD認定制度ができた背景
2. NDD認定制度の目的
3. 審査・認定の仕組み
4. 認定マークとその種類
5. 認定マークの表示ルールと仕組み
6. ダークパターン・ホットラインについて
7. 認定取り消しルール
- 8. 今後のバージョンアップ計画**
9. 参考情報

今後のバージョンアップ計画

「一定の条件を満たす場合はダークパターンになる」という線引きが可能になったWebサイト上での場面や消費者の導線、文言の組み合わせなどを審査対象に追加していきます。

Ver1.1では「審査員によって判断が分けないダークパターン」を審査対象とします。

以降のバージョンアップにおいては、「一定の条件を満たす場合はダークパターンになる」ということを明確に言語化、線引きができたものをガイドラインで詳述し、審査対象に加えていきます。



1. NDD認定制度ができた背景
2. NDD認定制度の目的
3. 審査・認定の仕組み
4. 認定マークとその種類
5. 認定マークの表示ルールと仕組み
6. ダークパターン・ホットラインについて
7. 認定取り消しルール
8. 今後のバージョンアップ計画
- 9. 参考情報**

クッキーバナーの自己審査にて、**ブラウザの開発者ツールで確認する項目があるため、一般的な手順を紹介**する。

- a. オプトアウト設定した後に、クッキーが無効化されていることの確認手順
- b. オプトインするまでは、クッキー取得が機能していないことの確認手順

a. オプトアウト設定した後に、クッキーが無効化されていることの確認手順

1. Chromeのブラウザのシークレットモード（「Ctrl + Shift + N」）を開く



2. 下部の「サードパーティーのCookieをブロックする」をオフにする



a. オプトアウト設定した後に、クッキーが無効化されていることの確認手順

3. Webサイトにアクセスし、クッキーバナーでオプトアウト（クッキー拒否ボタンを押す等）

※下記の例では、カテゴリ「アクセス解析」をオプトアウト

クッキー設定（プライバシー設定）

お客様が当ウェブサイトを訪れる際、お客様のブラウザ上にクッキーなどの情報を保存、あるいはお客様のブラウザ上からクッキーなどの情報を取得することがあります。この情報は、お客様、お客様の好み、またはお客様のデバイスに関するものであり、多くの場合はサイトを期待通りに機能させるために使用されます。通常、この情報は特定のユーザーを直接識別するものではありませんが、よりパーソナライズされたウェブ体験をユーザーに提供します。お客様は、当社がお客様の情報を当社のパートナーと共有することについて拒否（オプトアウト）する権利を有しています。以下、クッキーのカテゴリごとの見出しをクリックして詳細を確認後、初期設定を変更頂けます。ただし、当社のウェブサイトが適切に機能するために必須のクッキー（たとえば、クッキーバナーを表示し、お客様が選択した設定を記憶するために必要なクッキー等）については拒否することはできません。また、一部の種類のクッキーをブロックすると、お客様のウェブ体験や当社が提供できるサービスに影響を及ぼす場合があります。

+ 必須 常にアクティブ

▼ アクセス解析 ☒

Google LLC（Googleアナリティクス）

クッキーを利用するサービスの目的：
ウェブサイトのパフォーマンスを分析し、改善に役立てるため、サイト利用者に関する情報を収集し、Googleへ送信します。Googleでは、送信された情報を分析、統計化し、ウェブサイトのパフォーマンスに関するレポートを当社に提供します。また、Googleでは、これらの情報をGoogle独自のサービス・プロダクトの改善を目的として利用する場合があります。

取得される利用者情報：
クライアントID、IPアドレス、閲覧ページURL、リファラー、デバイスタイプ、OS情報、ブラウザタイプ、利用言語、画像解像度

全てのクッキーを受け入れる 必須クッキー以外のクッキーを拒否する 設定を保存する

クッキー設定（プライバシー設定）

お客様が当ウェブサイトを訪れる際、お客様のブラウザ上にクッキーなどの情報を保存、あるいはお客様のブラウザ上からクッキーなどの情報を取得することがあります。この情報は、お客様、お客様の好み、またはお客様のデバイスに関するものであり、多くの場合はサイトを期待通りに機能させるために使用されます。通常、この情報は特定のユーザーを直接識別するものではありませんが、よりパーソナライズされたウェブ体験をユーザーに提供します。お客様は、当社がお客様の情報を当社のパートナーと共有することについて拒否（オプトアウト）する権利を有しています。以下、クッキーのカテゴリごとの見出しをクリックして詳細を確認後、初期設定を変更頂けます。ただし、当社のウェブサイトが適切に機能するために必須のクッキー（たとえば、クッキーバナーを表示し、お客様が選択した設定を記憶するために必要なクッキー等）については拒否することはできません。また、一部の種類のクッキーをブロックすると、お客様のウェブ体験や当社が提供できるサービスに影響を及ぼす場合があります。

+ 必須 常にアクティブ

▼ アクセス解析 ☐

Google LLC（Googleアナリティクス）

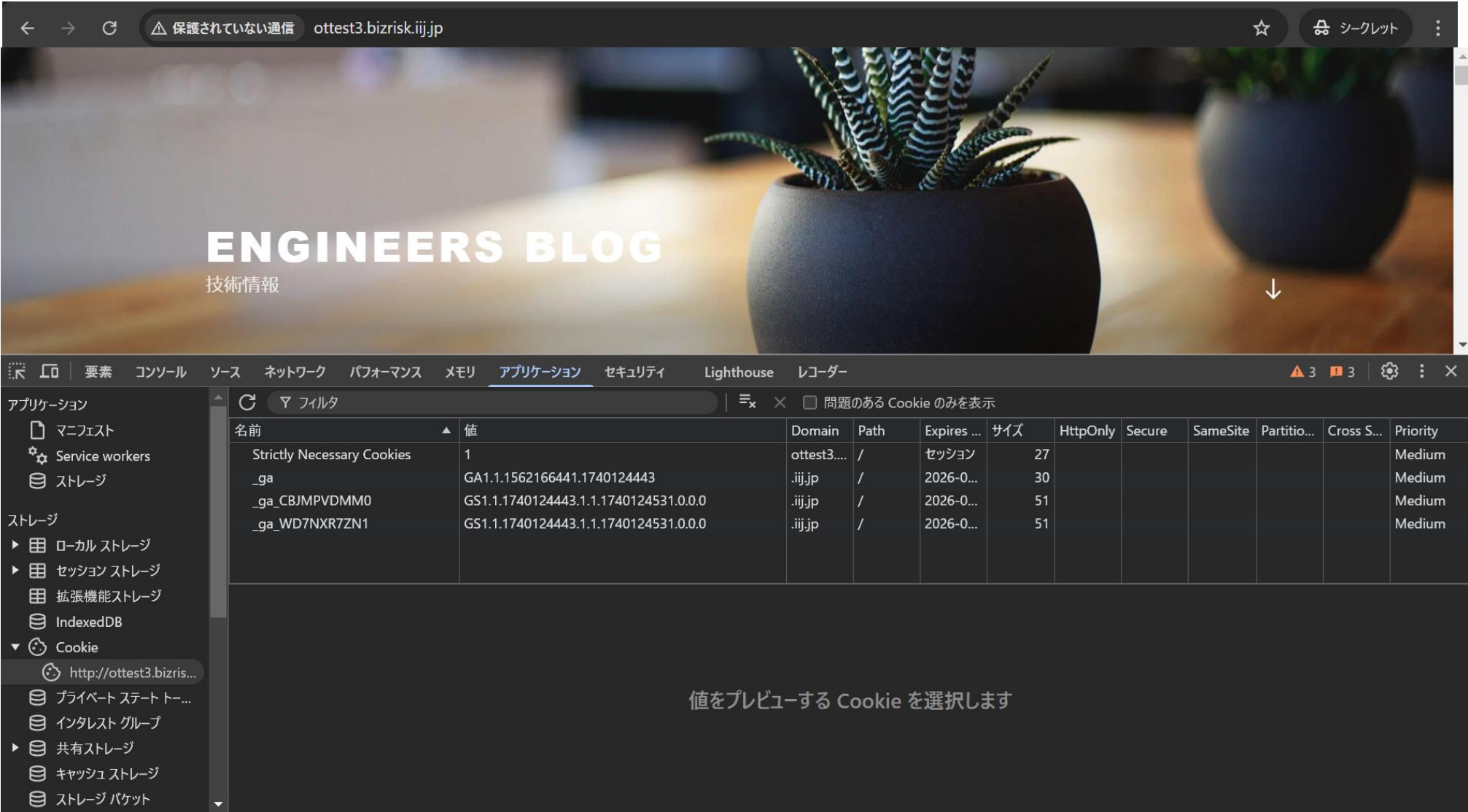
クッキーを利用するサービスの目的：
ウェブサイトのパフォーマンスを分析し、改善に役立てるため、サイト利用者に関する情報を収集し、Googleへ送信します。Googleでは、送信された情報を分析、統計化し、ウェブサイトのパフォーマンスに関するレポートを当社に提供します。また、Googleでは、これらの情報をGoogle独自のサービス・プロダクトの改善を目的として利用する場合があります。

取得される利用者情報：
クライアントID、IPアドレス、閲覧ページURL、リファラー、デバイスタイプ、OS情報、ブラウザタイプ、利用言語、画像解像度

全てのクッキーを受け入れる 必須クッキー以外のクッキーを拒否する 設定を保存する

a. オプトアウト設定した後に、クッキーが無効化されていることの確認手順

4. ブラウザの開発者ツールで、実際にWebサイトで発行されているクッキー一覧を表示



a. オプトアウト設定した後に、クッキーが無効化されていることの確認手順

4. この状態で、一旦Webサイトをリロード（再読み込み）する

リロード

ENGINEERS BLOG
技術情報

要素 コンソール ソース ネットワーク パフォーマンス メモリ **アプリケーション** セキュリティ Lighthouse レコーダー

アプリケーション

マニフェスト
Service workers
ストレージ

ストレージ

ローカル ストレージ
セッション ストレージ
拡張機能ストレージ
IndexedDB
Cookie
http://ottest3.bizris...

プライベート ステート トー...
インタレスト グループ
共有ストレージ
キャッシュ ストレージ
ストレージ バケット

名前

値

Domain

Path

Expires ...

サイズ

HttpOnly

Secure

SameSite

Partitio...

Cross S...

Priority

Strictly Necessary Cookies

1

ottest3...

/

セッション

27

Medium

_ga

GA1.1.1562166441.1740124443

.iij.jp

/

2026-0...

30

Medium

_ga_CBJMPVDDMM0

GS1.1.1740124443.1.1.1740124531.0.0.0

.iij.jp

/

2026-0...

51

Medium

_ga_WD7NXR7ZN1

GS1.1.1740124443.1.1.1740124531.0.0.0

.iij.jp

/

2026-0...

51

Medium

値をプレビューする Cookie を選択します

a. オプトアウト設定した後に、クッキーが無効化されていることの確認手順

5. オプトアウト前に発行されていたクッキー情報が残っているため、クッキーを削除する

※必須クッキーは削除しない

The screenshot shows a web browser displaying the 'ENGINEERS BLOG' page. The Chrome DevTools Application tab is open, showing the 'Cookies' section. A table lists several cookies, including '_ga'. A callout box points to the '_ga' cookie with the text '右クリック → delete'.

名前	値	Domain	Path	Expires ...	サイズ	HttpOnly	Secure	SameSite	Partitio...	Cross S...	Priority
Strictly Necessary Cookies	1	ottest3....	/	セッション	27						Medium
_ga	GA1.1.1562166441.1740124443	.iij.jp	/	2026-0...	30						Medium
_ga_CBJMPVDM0	GS1.1.1740124443.1.1.1740124531.0.0.0	.iij.jp	/	2026-0...	51						Medium
_ga_WD7NXR7ZN1	GS1.1.1740124443.1.1.1740124531.0.0.0				51						Medium

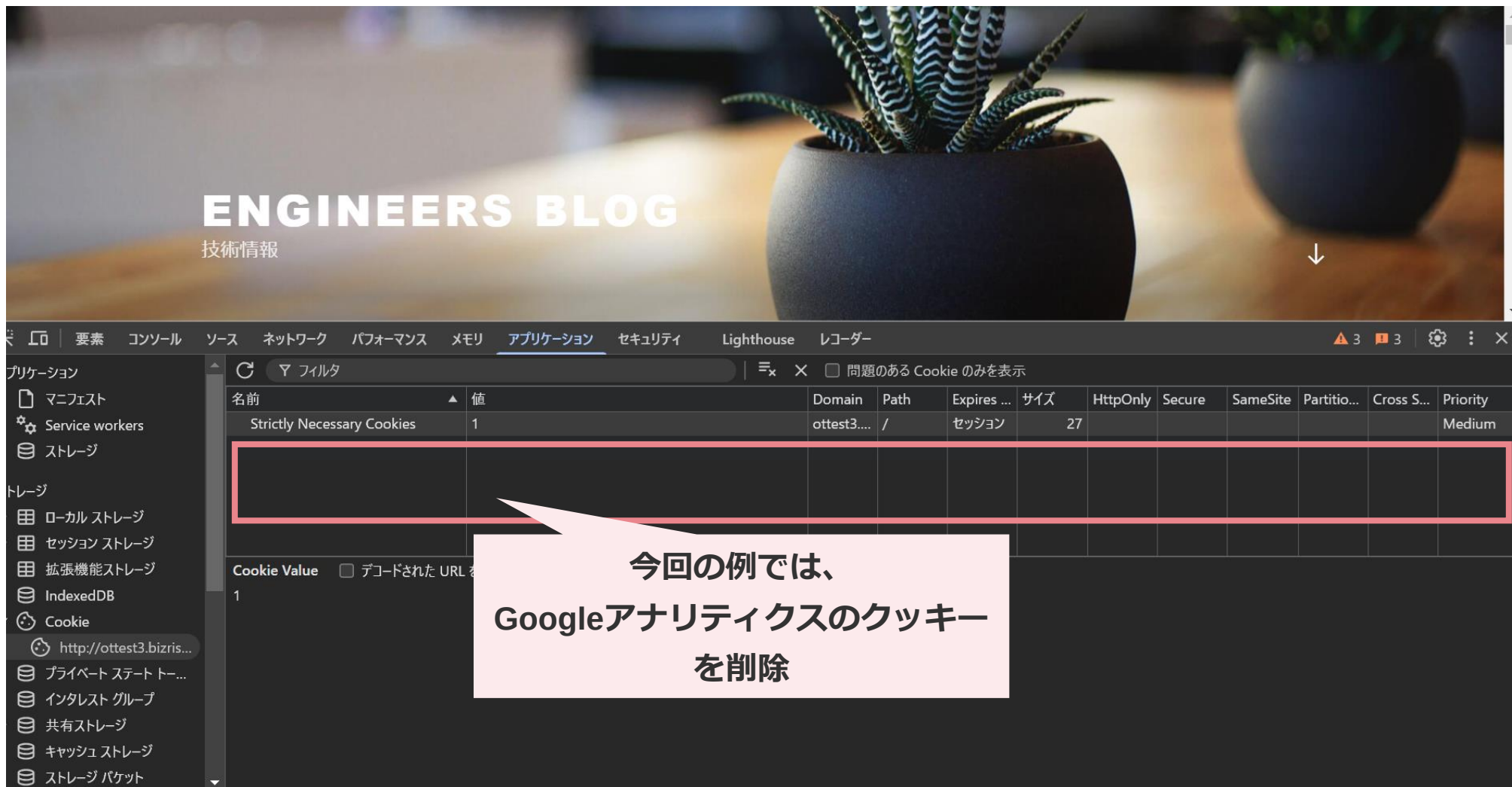
Cookie Value ☐ デコードされた URL を表示する
GA1.1.1562166441.1740124443

右クリック
→delete

a. オプトアウト設定した後に、クッキーが無効化されていることの確認手順

5. オプトアウト前に発行されていたクッキー情報が残っているため、クッキーを削除する

※必須クッキーは削除しない



名前	値	Domain	Path	Expires	サイズ	HttpOnly	Secure	SameSite	Partitio...	Cross S...	Priority
Strictly Necessary Cookies	1	ottest3....	/	セッション	27						Medium

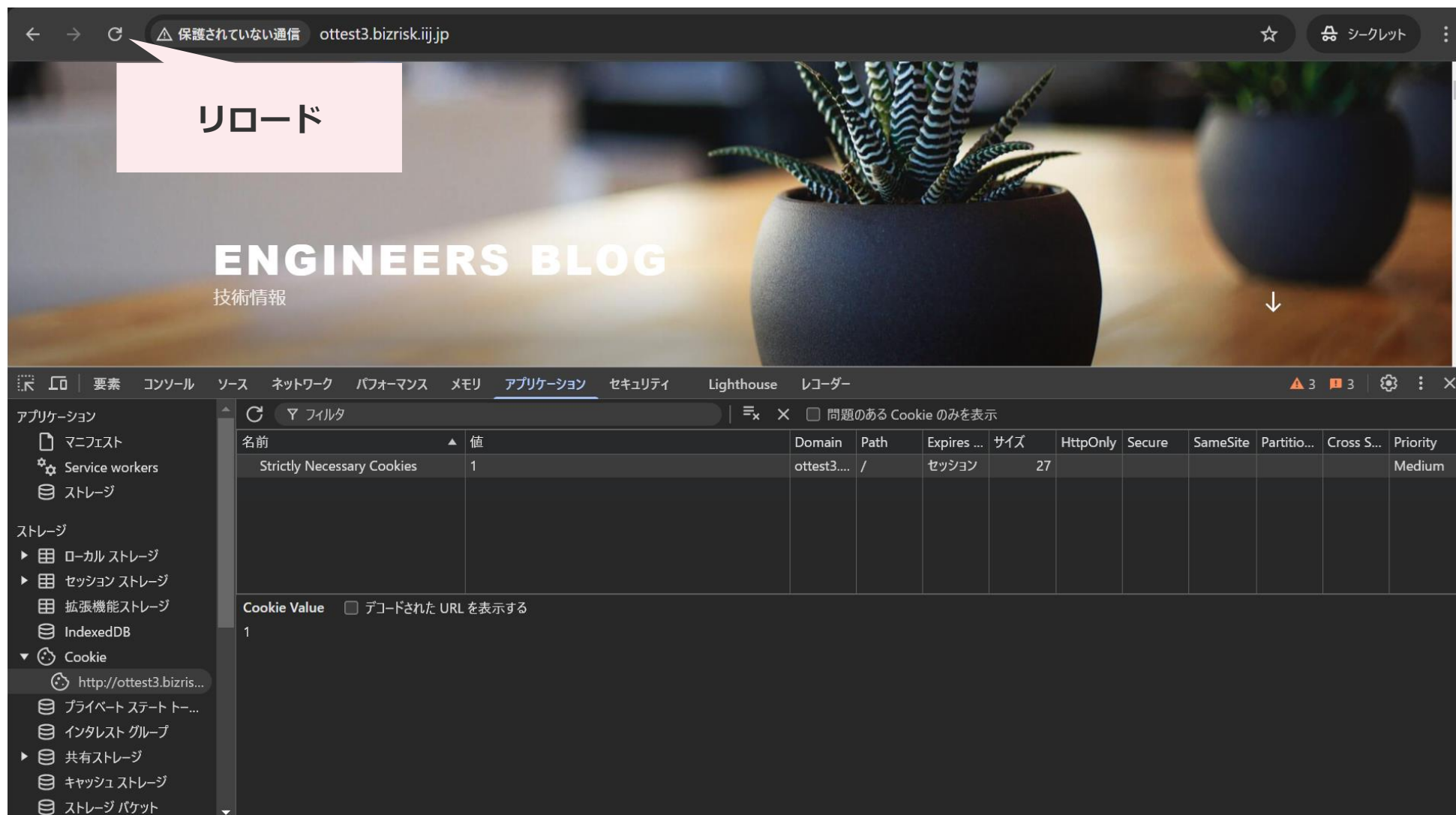
Cookie Value ☐ デコードされた URL を表示

1

今回の例では、
Googleアナリティクスのクッキー
を削除

a. オプトアウト設定した後に、クッキーが無効化されていることの確認手順

6. 削除後、Webサイトをリロード（再読み込み）する



リロード

ENGINEERS BLOG
技術情報

リロード

Application

Cookie

名前	値	Domain	Path	Expires ...	サイズ	HttpOnly	Secure	SameSite	Partitio...	Cross S...	Priority
Strictly Necessary Cookies	1	ottest3...	/	セッション	27						Medium

Cookie Value ☐ デコードされた URL を表示する

1

a. オプトアウト設定した後に、クッキーが無効化されていることの確認手順

7. オプトアウトしたクッキーは発行されていないことを確認する

※もしオプトアウトしたクッキーが発行されている場合は、正しく制御できていないことになる



The screenshot shows a web browser with the address bar displaying 'ottest3.bizrisk.ijj.jp'. The page content features a large image of a potted plant and the text 'ENGINEERS BLOG' with '技術情報' below it. The Chrome DevTools Application tab is open, showing a list of cookies. The first cookie is 'Strictly Necessary Cookies' with a value of '1'. Below this, there is a large empty space, which is highlighted by a red box. A callout box points to this empty space with the text: '正しく制御できていれば、オプトアウトしたクッキーは表示されない'.

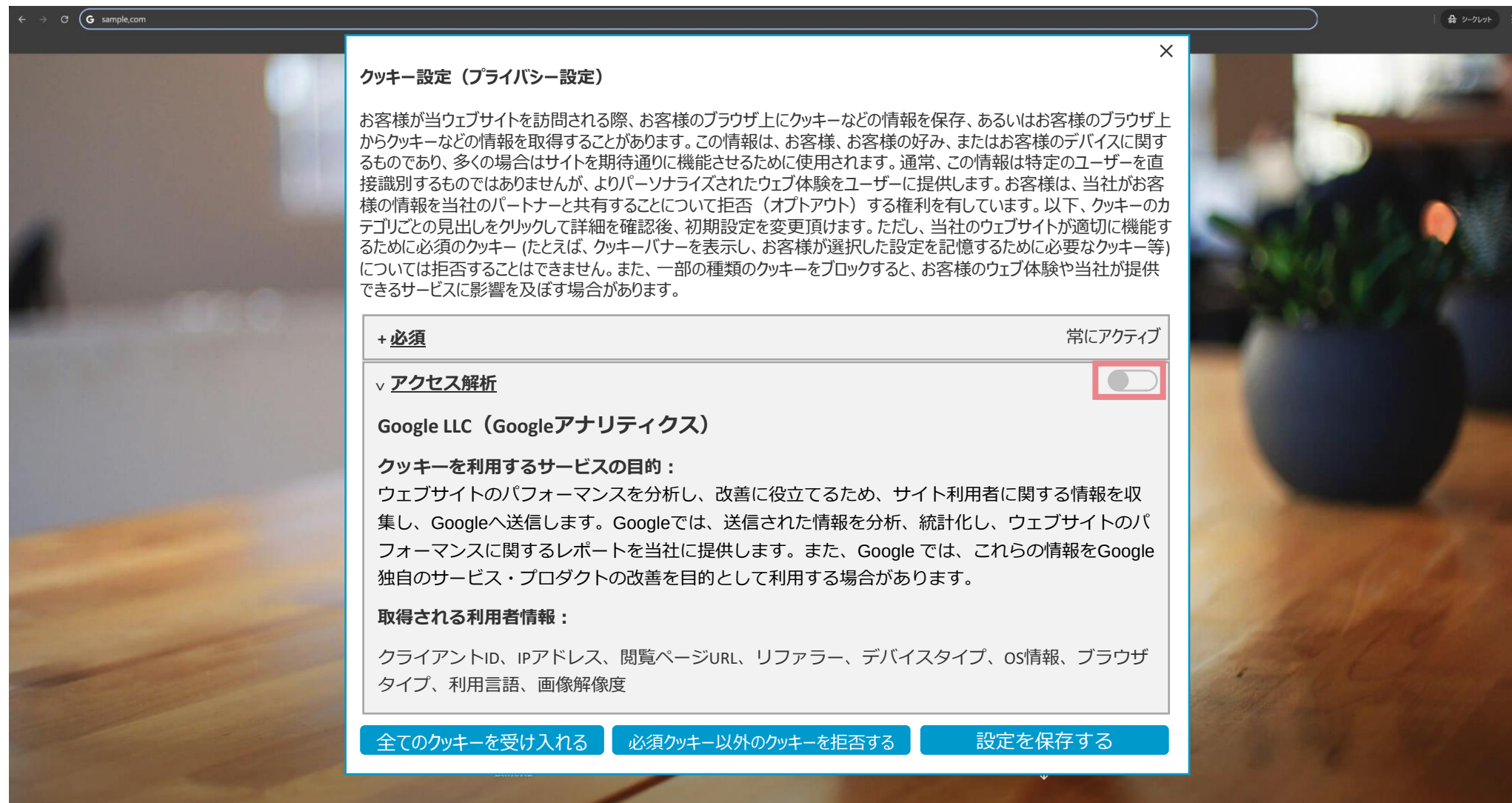
名前	値	Domain	Path	Expires ...	サイズ	HttpOnly	Secure	SameSite	Partitio...	Cross S...	Priority
Strictly Necessary Cookies	1	ottest3...	/	セッション	27						Medium

Cookie Value ☐ デコードされた URL を表示
1

正しく制御できていれば、
オプトアウトしたクッキーは
表示されない

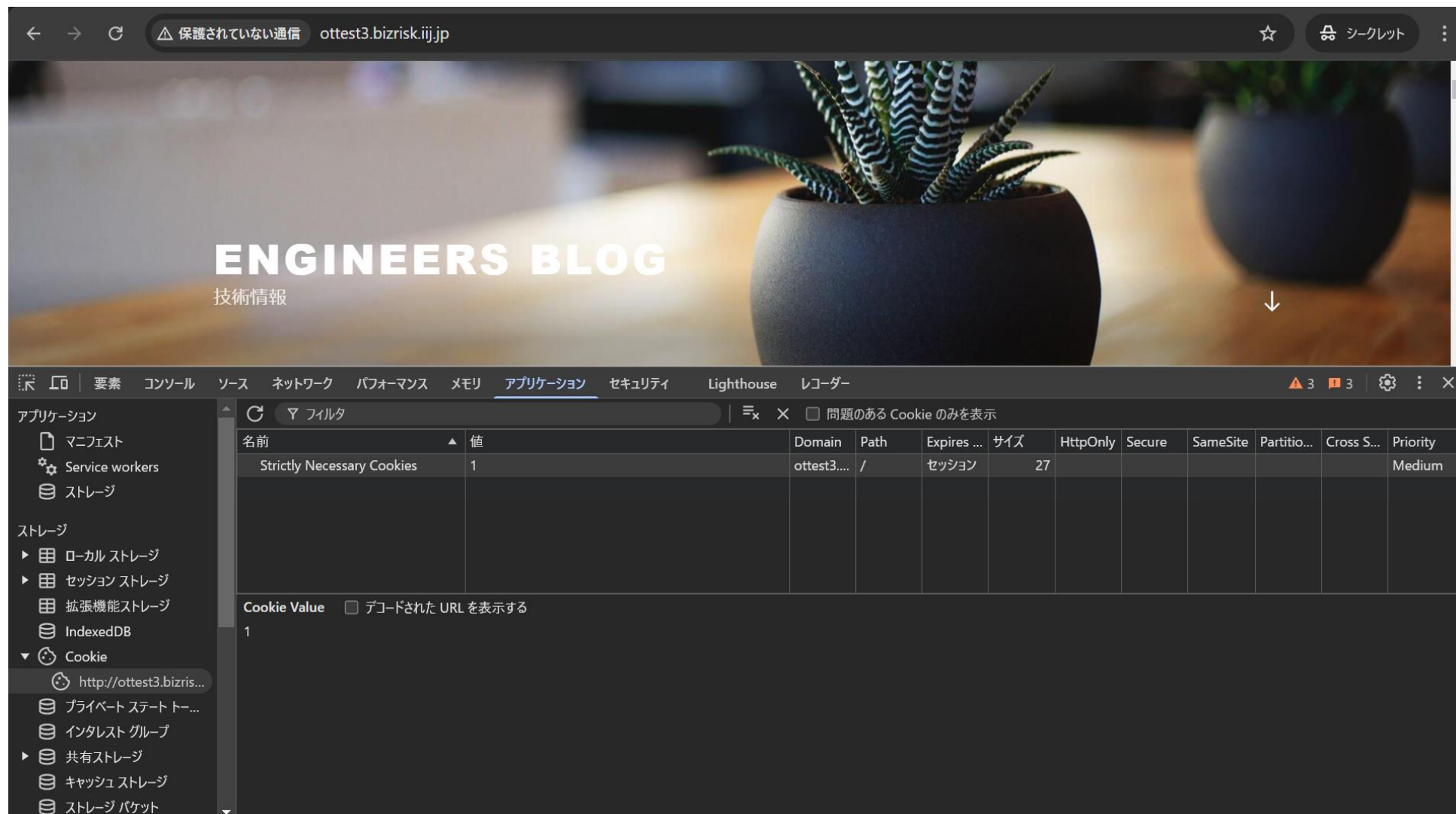
b. オプトインするまでは、クッキー取得が機能していないことの確認手順

1. オプトイン前では、必須クッキー以外のクッキーが発行されていないことを確認する (クッキーバナーで、クッキー発行「オフ」の状態をチェック)



b. オプトインするまでは、クッキー取得が機能していないことの確認手順

2. オプトイン前では、必須クッキー以外のクッキーが発行されていないことを確認する (ブラウザの開発者ツールで確認)



The screenshot shows a web browser window with the address bar displaying 'ottest3.bizrisk.ijj.jp'. The page content features a large image of a potted plant and the text 'ENGINEERS BLOG' with '技術情報' below it. The Chrome DevTools Application tab is open, showing a table of cookies. The table has columns for Name, Value, Domain, Path, Expires, Size, HttpOnly, Secure, SameSite, Partitioned, Cross Site, and Priority. One cookie is listed: 'Strictly Necessary Cookies' with value '1' and domain 'ottest3....'. The left sidebar shows the 'Cookie' section expanded, with a list of cookies for 'http://ottest3.bizrisk.ijj.jp/'.

名前	値	Domain	Path	Expires ...	サイズ	HttpOnly	Secure	SameSite	Partitio...	Cross S...	Priority
Strictly Necessary Cookies	1	ottest3....	/	セッション	27						Medium

Cookie Value ☐ デコードされた URL を表示する

1

b. オプトインするまでは、クッキー取得が機能していないことの確認手順

3. クッキーバナーでオプトイン（クッキー同意ボタンを押す等）を実施し、必須クッキー以外が追加で発行されていることを確認する（下記の例では、カテゴリ「アクセス解析」をオプトイン）

クッキー設定（プライバシー設定）

お客様が当ウェブサイトを訪問される際、お客様のブラウザ上にクッキーなどの情報を保存、あるいはお客様のブラウザ上からクッキーなどの情報を取得することがあります。この情報は、お客様、お客様の好み、またはお客様のデバイスに関するものであり、多くの場合はサイトを期待通りに機能させるために使用されます。通常、この情報は特定のユーザーを直接識別するものではありませんが、よりパーソナライズされたウェブ体験をユーザーに提供します。お客様は、当社がお客様の情報を当社のパートナーと共有することについて拒否（オプトアウト）する権利を有しています。以下、クッキーのカテゴリごとの見出しをクリックして詳細を確認後、初期設定を変更頂けます。ただし、当社のウェブサイトが適切に機能するために必須のクッキー（たとえば、クッキーバナーを表示し、お客様が選択した設定を記憶するために必要なクッキー等）については拒否することはできません。また、一部の種類のクッキーをブロックすると、お客様のウェブ体験や当社が提供できるサービスに影響を及ぼす場合があります。

+ 必須

常にアクティブ

▼ アクセス解析

Google LLC（Googleアナリティクス）

クッキーを利用するサービスの目的：
ウェブサイトのパフォーマンスを分析し、改善に役立てるため、サイト利用者に関する情報を収集し、Googleへ送信します。Googleでは、送信された情報を分析、統計化し、ウェブサイトのパフォーマンスに関するレポートを当社に提供します。また、Googleでは、これらの情報をGoogle独自のサービス・プロダクトの改善を目的として利用する場合があります。

取得される利用者情報：
クライアントID、IPアドレス、閲覧ページURL、リファラー、デバイスタイプ、OS情報、ブラウザタイプ、利用言語、画像解像度

全てのクッキーを受け入れる

必須クッキー以外のクッキーを拒否する

設定を保存する

クッキー設定（プライバシー設定）

お客様が当ウェブサイトを訪問される際、お客様のブラウザ上にクッキーなどの情報を保存、あるいはお客様のブラウザ上からクッキーなどの情報を取得することがあります。この情報は、お客様、お客様の好み、またはお客様のデバイスに関するものであり、多くの場合はサイトを期待通りに機能させるために使用されます。通常、この情報は特定のユーザーを直接識別するものではありませんが、よりパーソナライズされたウェブ体験をユーザーに提供します。お客様は、当社がお客様の情報を当社のパートナーと共有することについて拒否（オプトアウト）する権利を有しています。以下、クッキーのカテゴリごとの見出しをクリックして詳細を確認後、初期設定を変更頂けます。ただし、当社のウェブサイトが適切に機能するために必須のクッキー（たとえば、クッキーバナーを表示し、お客様が選択した設定を記憶するために必要なクッキー等）については拒否することはできません。また、一部の種類のクッキーをブロックすると、お客様のウェブ体験や当社が提供できるサービスに影響を及ぼす場合があります。

+ 必須

常にアクティブ

▼ アクセス解析

Google LLC（Googleアナリティクス）

クッキーを利用するサービスの目的：
ウェブサイトのパフォーマンスを分析し、改善に役立てるため、サイト利用者に関する情報を収集し、Googleへ送信します。Googleでは、送信された情報を分析、統計化し、ウェブサイトのパフォーマンスに関するレポートを当社に提供します。また、Googleでは、これらの情報をGoogle独自のサービス・プロダクトの改善を目的として利用する場合があります。

取得される利用者情報：
クライアントID、IPアドレス、閲覧ページURL、リファラー、デバイスタイプ、OS情報、ブラウザタイプ、利用言語、画像解像度

全てのクッキーを受け入れる

必須クッキー以外のクッキーを拒否する

設定を保存する

©一般社団法人ダークパターン対策協会

87

b. オプトインするまでは、クッキー取得が機能していないことの確認手順

3. クッキーバナーでオプトイン（クッキー同意ボタンを押す等）を実施し、必須クッキー以外も発行されていることを確認する

（例では、カテゴリ「アクセス解析」をオプトインしたので、「アクセス解析」に紐づくクッキーが発行）

ENGINEERS BLOG

技術情報

アプリケーション

マニフェスト

Service workers

ストレージ

ローカル ストレージ

セッション ストレージ

拡張機能ストレージ

IndexedDB

Cookie

http://ottest3.bizris...

プライベート ステート トー...

インタレスト グループ

共有ストレージ

キャッシュ ストレージ

ストレージ バケット

名前

値

Domain

Path

Expires ...

サイズ

HttpOnly

Secure

SameSite

Partitio...

Cross S...

Priority

Strictly Necessary Cookies

1

ottest3...

/

セッション

27

Medium

ga

GA1.1.1562166441.1740124443

.iij.jp

/

2026-0...

30

Medium

ga_CBJMPVDDMM0

GS1.1.1740124443.1.1.1740124531.0.0.0

.iij.jp

/

2026-0...

51

Medium

ga_WD7NXR7ZN1

GS1.1.1740124443.1.1.1740124531.0.0.0

.iij.jp

/

2026-0...

51

Medium

値をプレビューする Cookie を選択します

必須クッキーについて

オンラインサービス提供・入力情報の端末への再表示・不正検知やロードバランシングなどにおいて必要不可欠な情報は、「必須クッキー」として本人関与機会（オプトイン又はオプトアウト）無しで取得できる

必須クッキーの例	必須クッキーによる取得情報の例
オンラインサービス提供に真に必要な情報	コンテンツ再生に必要な端末構成情報
利用者の入力/認証情報を 端末ディスプレイに再表示するために必要な情報	（ページ戻りしても、アイテムが買い物かごから消えないよう） 買い物かごに入れたアイテム情報 - ユーザーID情報
不正検知等に必要な情報	（普段と違う端末IDからのログインを疑うための）アクセス端末情報
ロードバランシング等に必要な情報	複数のサーバで負荷分散する際に、端末IDを識別して、同一の端末からのリクエストを同一サーバに振り分けてセッションを維持するための情報
オンラインサービス提供者が端末に割り当てたID等を当該オンラインサービス提供者のサーバを送信先として送信させる場合	ファーストパーティ・クッキーに保存されたID等、セッション維持、ID・パスワードの入力の省略等のため情報

クッキーバナーツールが発行するクッキーについて

同意情報を保存するクッキーとして、一般的に下記のクッキーなどがある。前ページのクッキー削除作業において、以下のクッキーは削除してはいけない（同意情報が消えてしまうため）
当該クッキーは「必須クッキー」として扱ってよい

同意情報を保存するクッキー

OneTrustによって設定されるクッキー

OptanonConsent	OneTrust社のクッキーバナーをサイトに実装することで発行される、ファーストパーティクッキーになります。このクッキーは、サイト訪問者のクッキーバナーに関する同意情報を保存するクッキーになります。
----------------	---

CookieBotによって設定されるクッキー

CookieConsent	Usercentrics（CookieBot）のクッキーバナーをサイトに実装することで発行される、ファーストパーティクッキーになります。このクッキーは、サイト訪問者のクッキーバナーに関する同意情報を保存するクッキーになります。
---------------	---

TrustArcによって設定されるクッキー

cmapi_cookie_privacy	TrustArcのクッキーバナーをサイトに実装することで発行される、ファーストパーティクッキーになります。このクッキーは、サイト訪問者のクッキーバナーに関する同意情報を保存するクッキーになります。 ※当該クッキーとは別に関連するクッキーが複数あり、Storage情報も削除することで同意情報が初期化されます。
----------------------	---

STRIGHTによって設定されるクッキー

• SIT-xxxxxxx • cookie_consent_data	STRIGHTのクッキーバナーをサイトに実装することで発行される、ファーストパーティクッキーになります。このクッキーは、サイト訪問者のクッキーバナーに関する同意情報を保存するクッキーになります。 ※当該クッキーとは別にStorage情報も削除することで同意情報が初期化されます。
---	--

見せ方（文字の色・サイズ）について

Webページに情報を掲載しても、その見せ方次第ではユーザーの誤認を生みます。
例えば、クッキーバナーの第1層/2層で明記している情報提供内容は分かりやすい見せ方が必要です。
下記のような見せ方はNGです。

【審査対象項目一部抜粋】5.1.5.4.1-(b) クッキーバナー - 情報提供の事実確認

(略) ～明記される内容は、日本語でわかりやすい言葉で、操作をしなくてもデフォルトで適切な文字サイズで、色の視認性や画面上のサイズを読みやすく考慮して明記されているか確認する。

NGイメージ

The image shows two side-by-side mockups of a cookie banner. The left mockup is labeled 'NGイメージ' (NG Image) and shows a banner with a light gray background and dark text, which is difficult to read. The right mockup shows a banner with a white background and dark text, which is easy to read. Both banners have a toggle switch for 'アクセス解析' (Access Analysis) and a section for 'ソーシャルメディア' (Social Media). The left banner has a light gray background and dark text, while the right banner has a white background and dark text. The text in the left banner is small and difficult to read, while the text in the right banner is larger and easier to read.

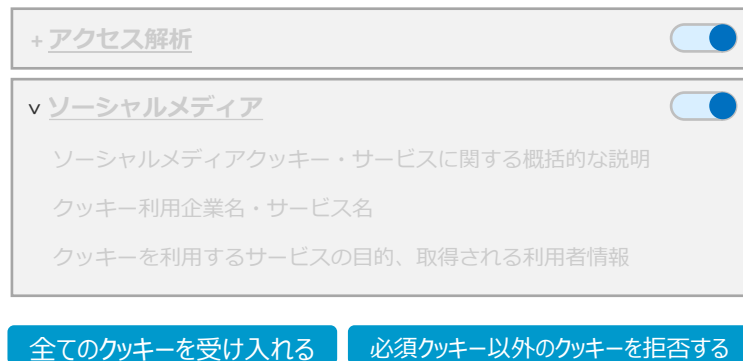
背景と同化・色が薄い等、
文字が読みにくい

文字が小さすぎる

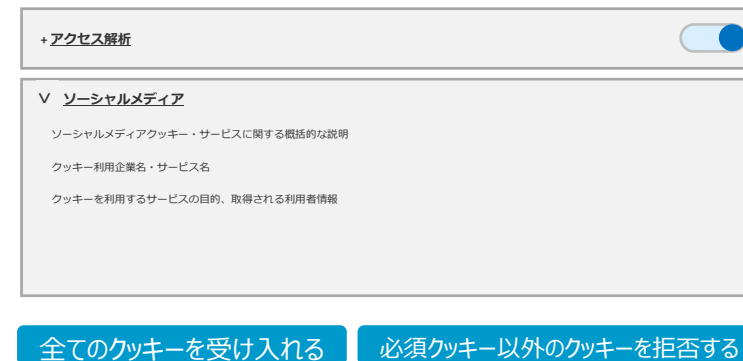
見せ方（文字の色・サイズ）について

ウェブアクセシビリティに関するガイドライン「WCAG（Web Content Accessibility Guidelines）」では、文字の色やサイズについての基準が設けられているので、見せ方に迷った際は参考にしてください。

NGイメージ



背景と同化・色が薄い等、
文字が読みにくい



文字が小さすぎる

WCAG
(参考)
での基準

コントラスト比

テキストと背景の間に十分なコントラストを設けること

○通常テキスト：コントラスト比 4.5:1以上
大きなテキスト：3:1以上

<https://www.w3.org/WAI/WCAG22/Understanding/contrast-minimum.html>

テキストの可読性

ユーザーがテキストを拡大しても読みやすさを損なわないこと

○最大200%まで拡大することを想定

<https://www.w3.org/WAI/WCAG22/Understanding/resize-text.html>

一般社団法人ダークパターン対策協会

<https://www.ndda.net/>